
ひとり親家庭等の自立促進のための計画策定に 向けたアンケート調査

《ひとり親家庭等保護者》

－ 結果報告書 －

令和6年(2024年)3月

豊中市

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果（ひとり親家庭）	3
1	アンケート回答者の状況	4
2	母子家庭・父子家庭別の状況	27
III	調査票	39

I 調査の概要

(1) 調査の目的

豊中市では、ひとり親家庭等の支援施策を進めていますが、この計画が令和6年度で終了するため、新たな計画の策定に取り組んでいます。

本調査は、新たな計画の策定にあたって、ひとり親家庭等をめぐる様々な状況を把握するために実施しました。

(2) 調査方法と回収状況

調査対象	市内在住のひとり親家庭の保護者（児童扶養手当受給資格者） 2,936人
調査方法	郵送により配布。回収は郵送もしくはWEBアンケートによる返信
調査期間	令和5年(2023年)12月8日～12月27日 ※令和6年(2024年)1月31日回収分をもって回収締め切り
回収状況	有効回答数 745件（うちWEB回答 368件）／有効回答率 25.4%（前回 35.9%） ※前回調査は児童扶養手当の現況届時に回収

(3) 本資料のみかた

※アンケート調査結果における各設問の母数n（Number of caseの略）は、設問に対する有効回答者数を意味します。

※各選択肢の構成比（%）は小数点第2位以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答については構成比の合計が100%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が100%を超える場合があります。

※クロス集計結果のうち、属性が無回答である場合は表記を割愛しています。このため、属性ごとの母数nの合計は設問に対する有効回答者総数の値と一致しないことがあります。

※グラフ中の数字は、特に断り書きのない限りすべて構成比を意味し、単位は%です。

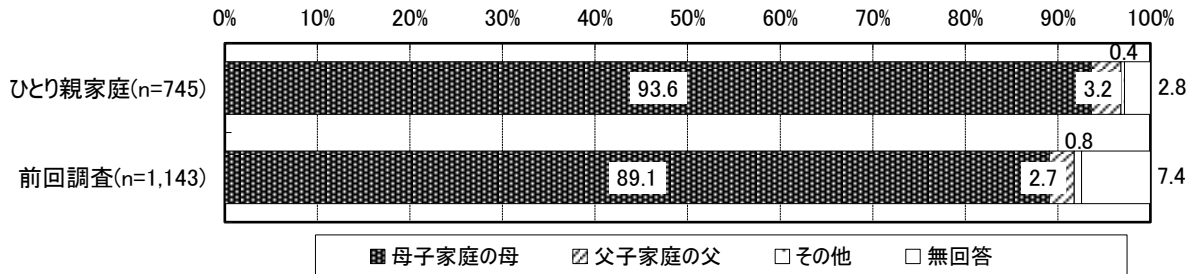
Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）

1 アンケート回答者の状況

（１）調査票の回答者

問１ あなたは次のうちどれにあてはまりますか。

・「母子家庭の母」が93.6%を占めています。



（２）ひとり親家庭になった時の年齢

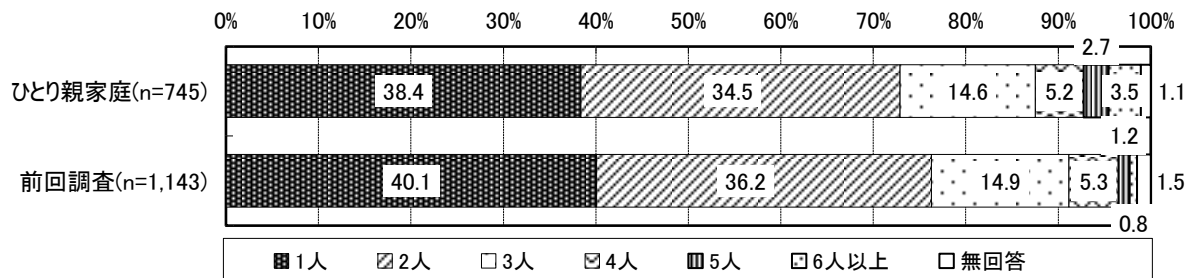
問２ ひとり親家庭になった時の年齢についてお伺いします。あなたと一番下の子どもの年齢を、記入してください。

	平均年齢(歳)	
	ひとり親家庭 (n=745)	前回調査 (n=1,143)
ひとり親家庭になったときの あなたの年齢	35.2	34.3
ひとり親家庭になったときの 一番下の子どもの年齢	4.3	4.3
	ひとり親家庭 (n=745)	前回調査 (n=1,143)
当年4月1日現在の あなたの年齢 ※今回令和5年、前回平成31年	42.1	41.2
当年4月1日現在の 一番下の子どもの年齢 ※今回令和5年、前回平成31年	10.5	10.6

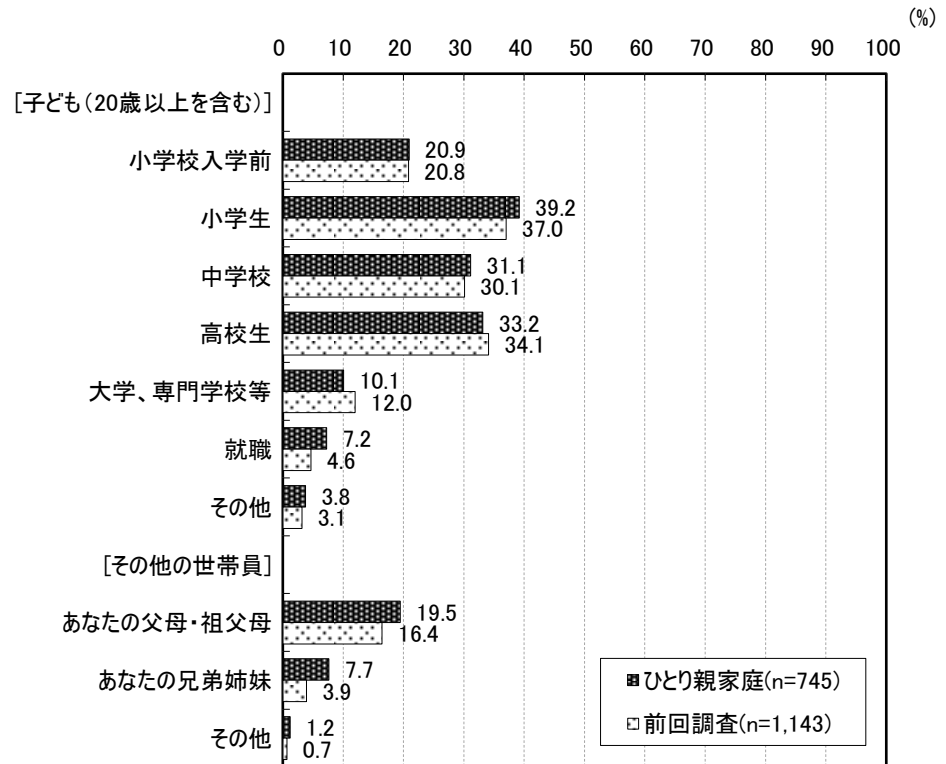
（３）家族の構成

問３ あなたの同居人数は何人ですか。それぞれの人数を記入してください。

・「1人」が38.4%と最も高く、次いで「2人」が34.5%となっています。
・「小学生」「中学生」「高校生」の割合が高くなっています。



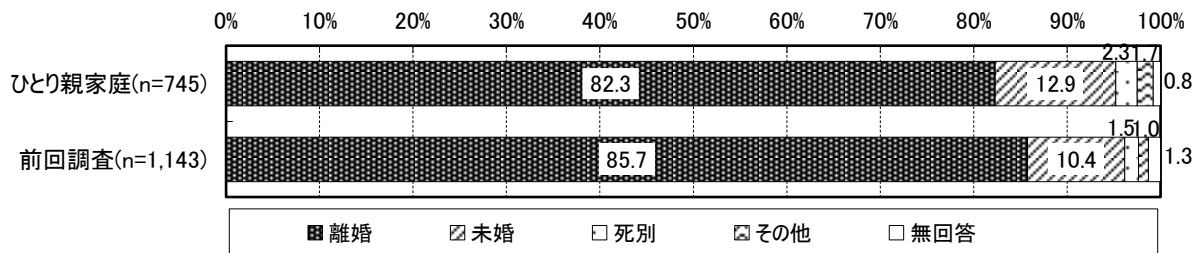
Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）



（４）ひとり親家庭になった理由

問４ ひとり親家庭になった理由は何ですか。

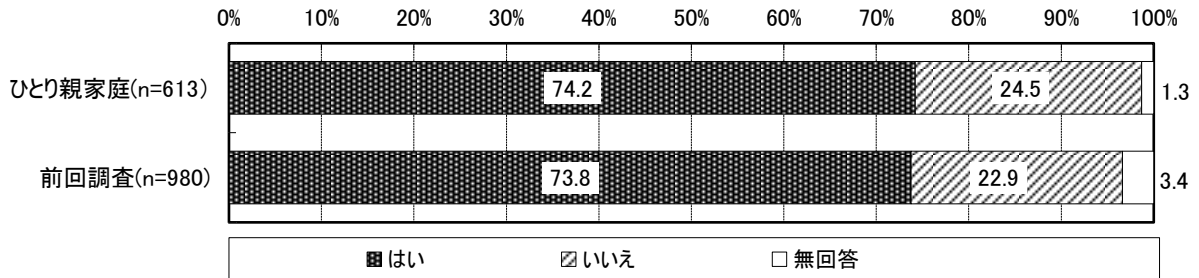
- ・「離婚」が82.3%を占めています。また、前回調査より「未婚」の割合がやや高くなっています。



（５）子どもへの説明

問５ 問４で①離婚と答えた方にお伺いします。離婚のことを子どもに説明しましたか？

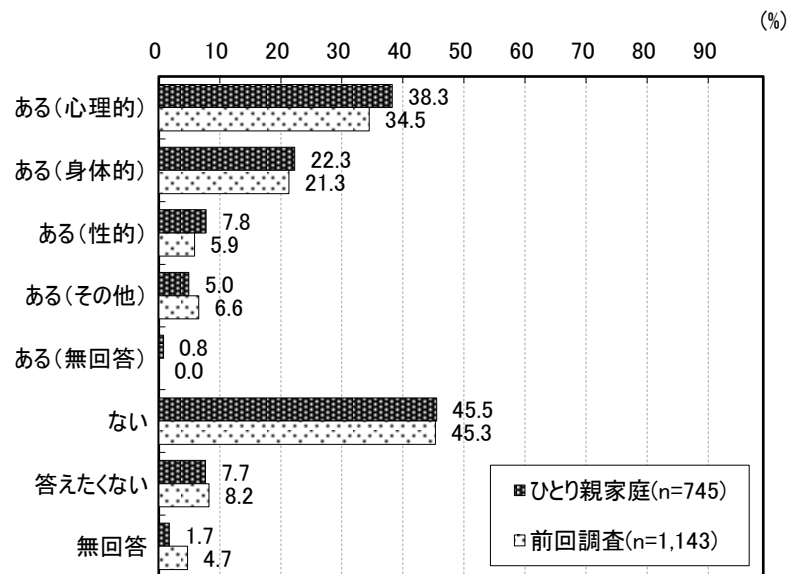
・「はい」が74.2%となっています。



（６）DVの経験〈複数回答〉

問６ DVを受けた経験はありますか？

・「ない」が45.5%と最も高くなっていますが、「ある」と答えた人では、「ある（心理的）」が38.3%、「ある（身体的）」が22.3%となっています。

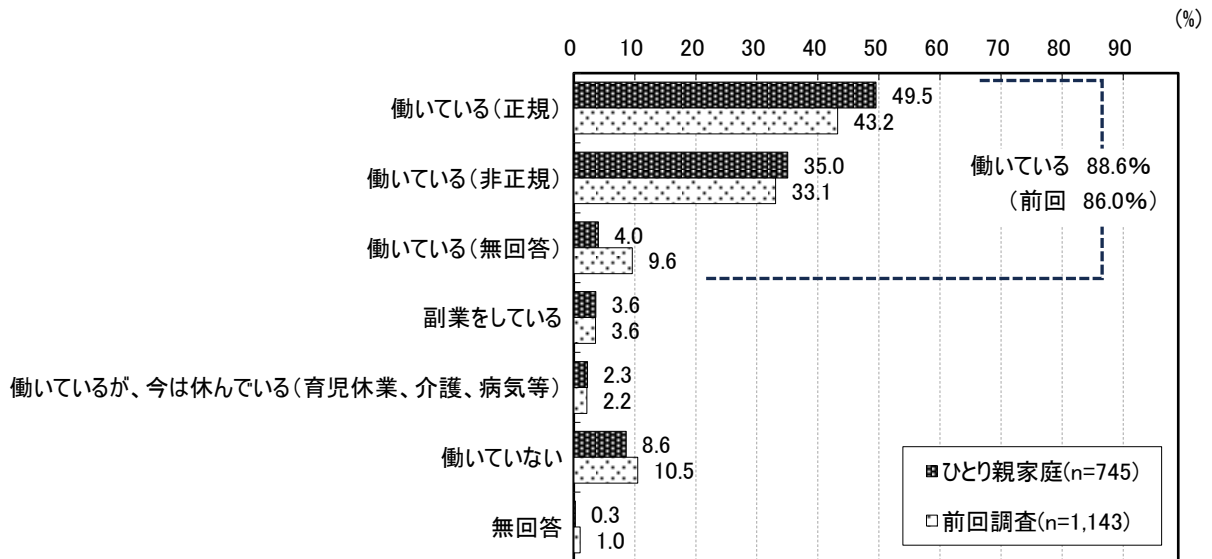


Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）

（７）就労状況〈複数回答〉

問７ あなたの就労状況について、お聞きします。

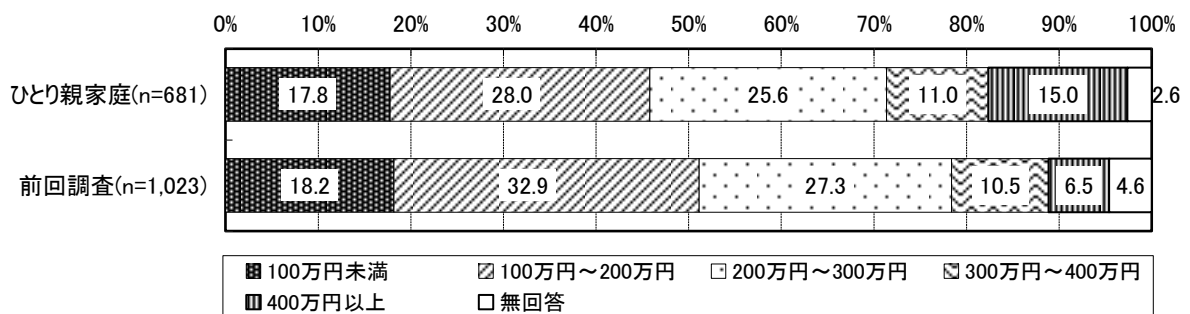
- ・「働いている」が88.6%となっており、前回調査よりやや割合が高くなっています。



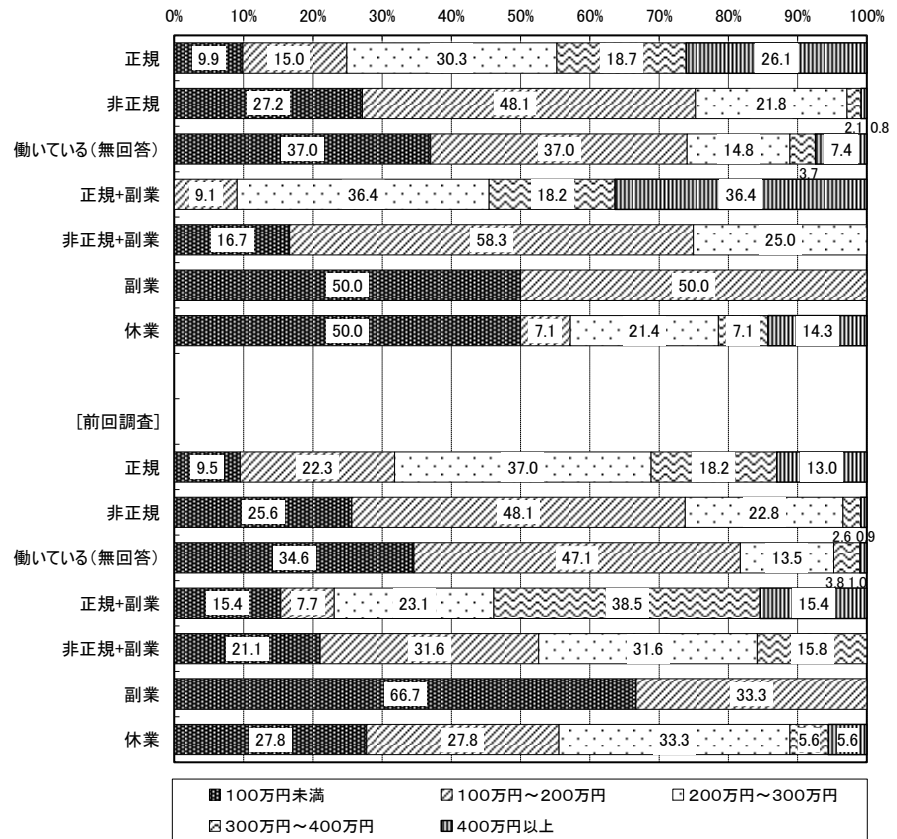
（８）収入

問８ あなたの令和４年中の年間就労収入（税込）はおよそいくらでしたか。

- ・「100万円～200万円」が28.0%と最も高くなっており、次いで「200万円～300万円」が高くなっています。
- ・前回調査より、「400万円以上」の割合が高くなっています。
- ・正規では「200万円～300万円」、非正規では「100万円～200万円」の割合が高くなっています。



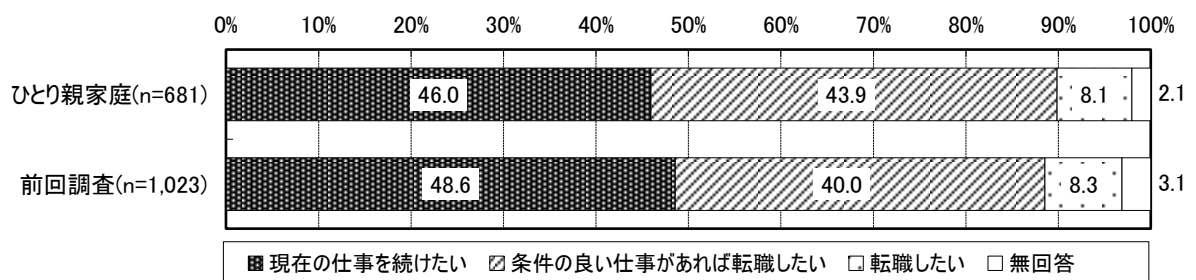
Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）



（９）転職希望の有無

問 9 現在のお仕事から転職する希望はありますか。

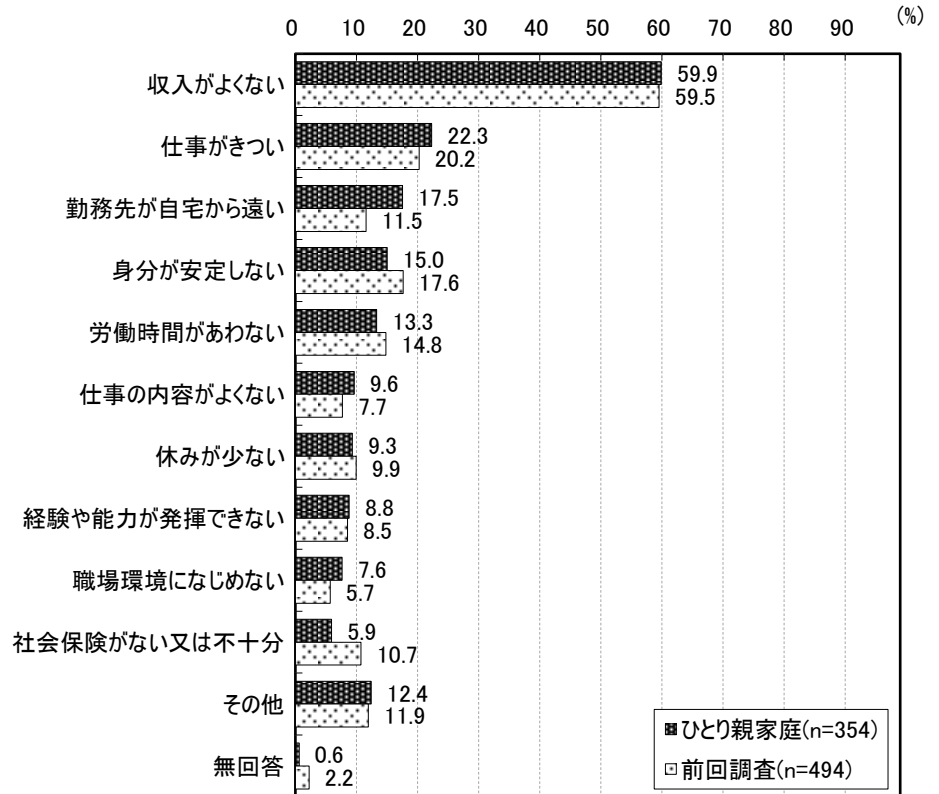
- ・「現在の仕事を続けたい」が46.0%と高くなっていますが、前回調査より「条件の良い仕事があれば転職したい」の割合がやや高くなっています。



（10）転職したい理由〈複数回答〉

問10 問9で①転職したい②条件の良い仕事があれば転職したいと回答した方にお聞きします。転職を希望する理由は何ですか。

・「収入がよくない」が最も高くなっています。



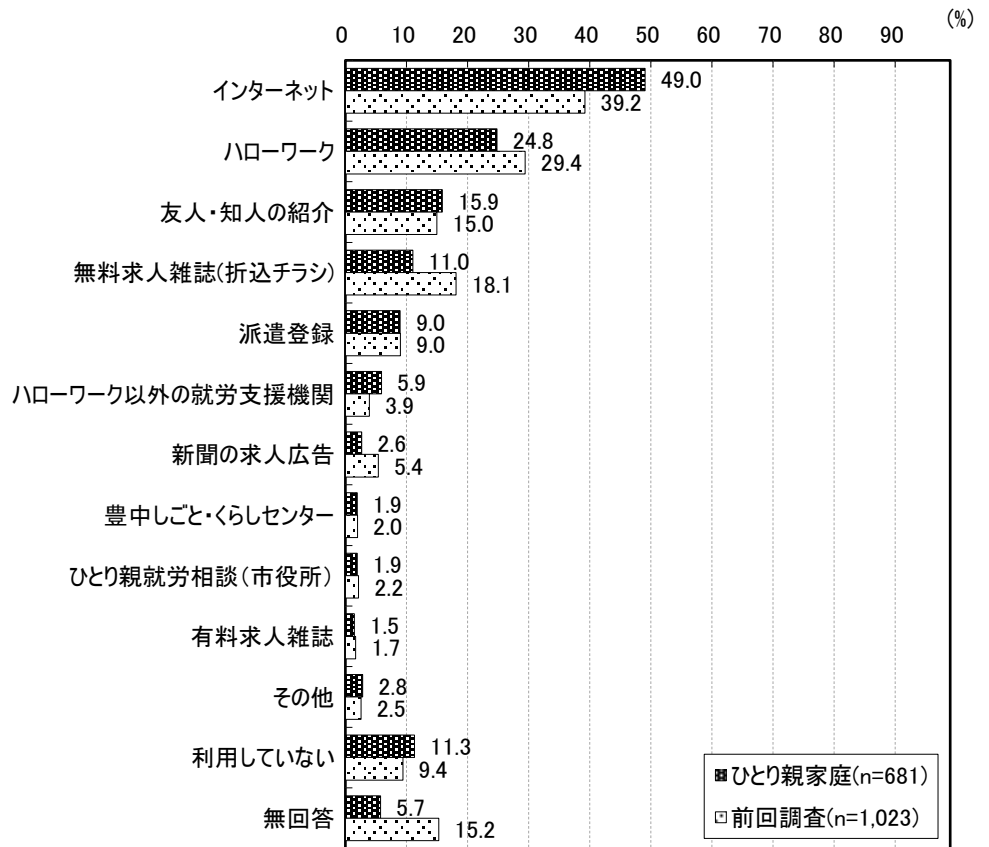
〔その他の意見〕

- ・子どもとの時間が少ない
- ・子育てへの理解が乏しい
- など

（11）仕事の探し方〈複数回答〉

問11 直近の仕事を探す際に、どのような情報源を利用されましたか。

- ・「インターネット」が49.0%となっており、前回調査より割合が高くなっています。

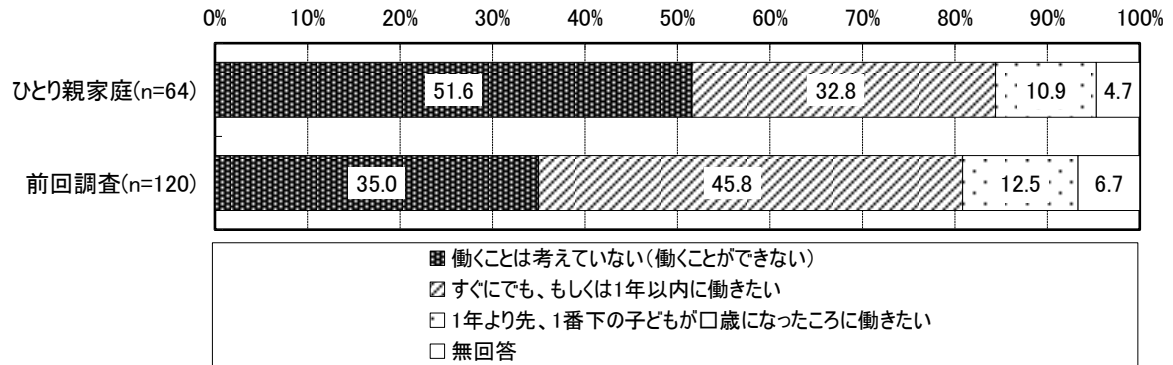


※選択肢「豊中しごと・くらしセンター」は前回調査では「地域就労支援センター豊中・庄内」

（12）就労の意向

問12 問7で④働いていないと答えた方にお伺いします。あなたは働きたいという希望をお持ちですか。

- ・「働くことは考えていない（働くことができない）」が51.6%と最も高く、前回調査より割合が高くなっています。



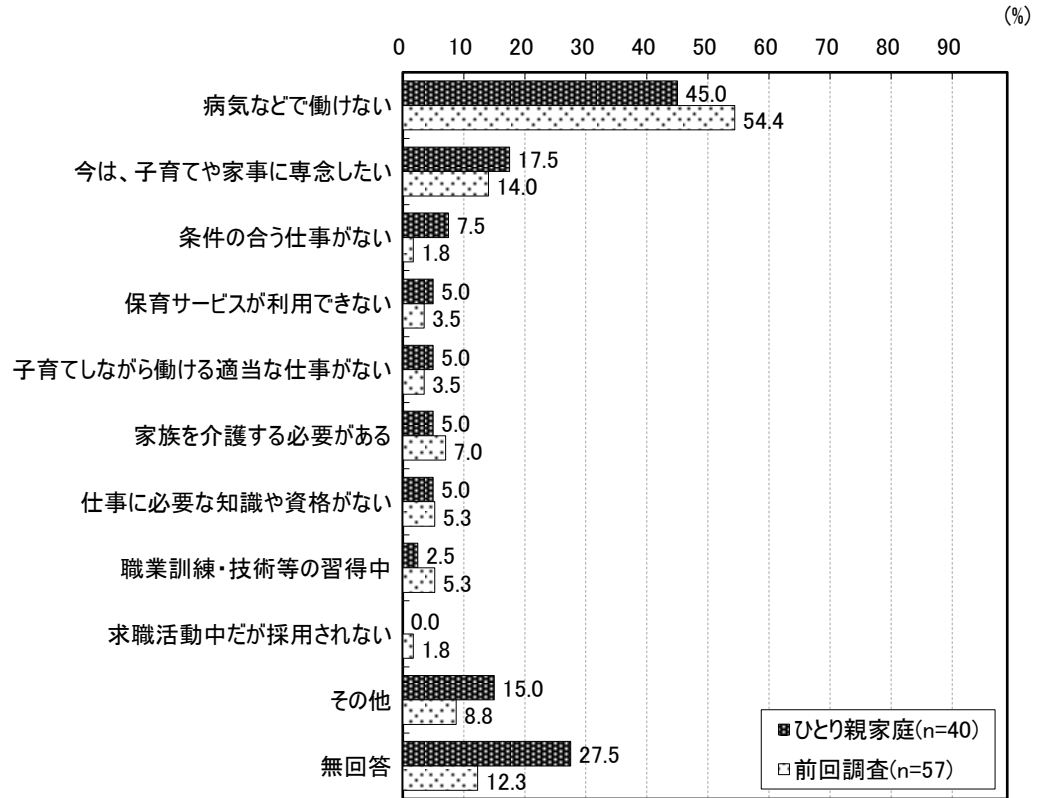
1番下の子どもが〇歳になったころに働きたい

	ひとり親家庭(n=7)	前回調査(n=15)
0～2歳	0	1
3～5歳	1	2
6～8歳	2	3
9～11歳	2	1
12～14歳	1	3
15～17歳	0	1
18歳以上	0	1
無回答	1	3

（13）働くことを考えていない理由〈複数回答〉

問13 問12で②1年より先、1番下の子どもが□歳になったところに働きたい、もしくは③働くことは考えていない（働けない）に○をされた方にお聞きします。その理由は何ですか。

・「病気などで働けない」が最も高くなっています。



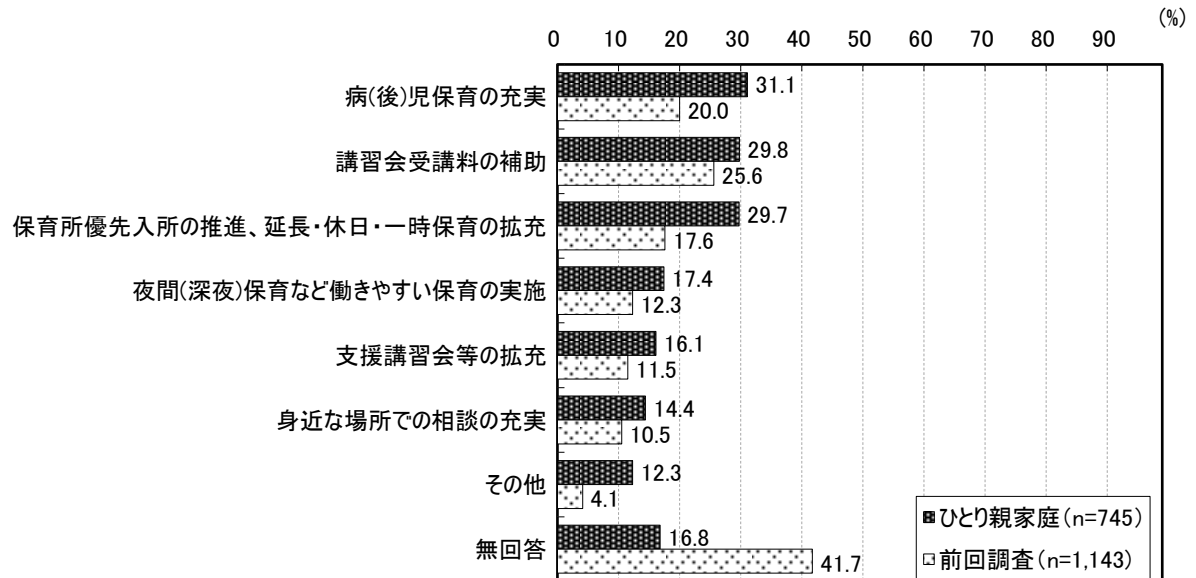
[その他の意見]

- ・子どもが病気のため
- ・子どものことで手一杯で働く体力がないなど

（14）就労に関する希望〈複数回答〉

問14 就労等に関して、どのような市の取組みを望まれますか。

- ・「病（後）児保育の充実」「講習会受講料の補助」「保育所優先入所の推進、延長・休日・一時保育の拡充」と答える人の割合が高くなっており、すべての選択肢において前回調査より割合が高くなっています。



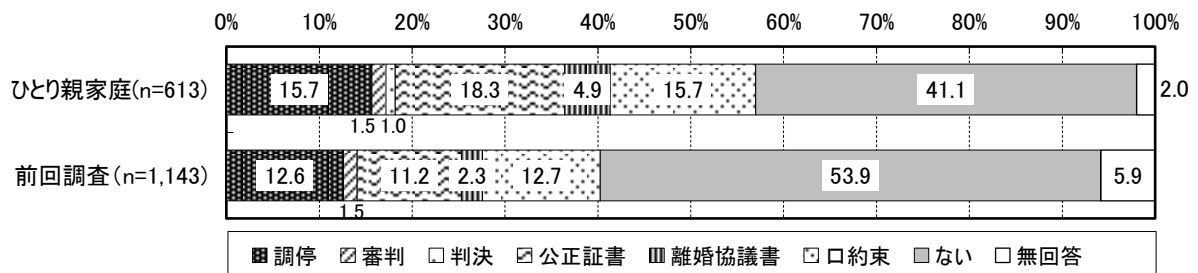
[その他の意見]

- ・資格取得の支援
- ・求人の紹介
- など

（15）養育費の取決めについて

問15 問4で①離婚と答えた方にお伺いします。養育費の取決めはありますか？

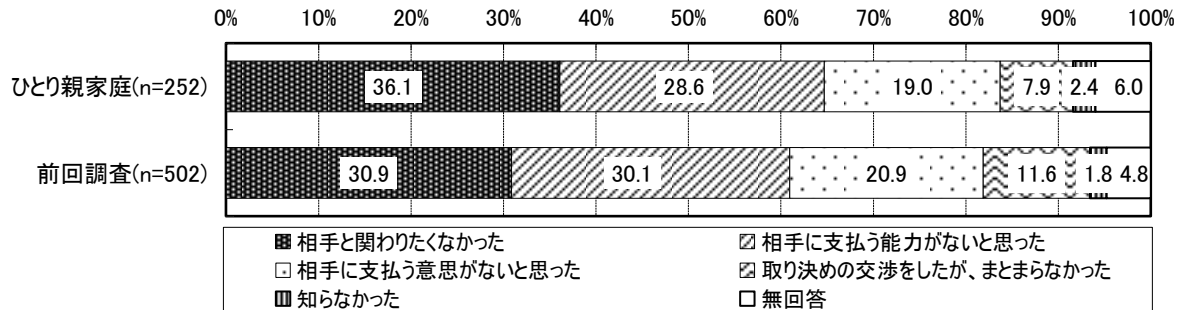
- ・「ある」と答えた人の合計が57.1%となっており、前回調査より割合が高くなっています。一方で、取決めが「ない」方が41.1%います。



（16）養育費の取決めがない理由

問16 問15で⑦ないと答えた方に、その理由をお伺いします。

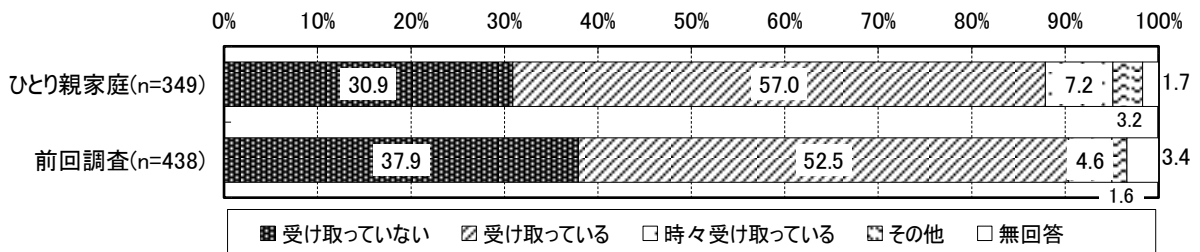
- ・「相手と関わりたくなかった」が36.1%で最も高く、次いで「相手に支払う能力がないと思った」が28.6%となっています。



（17）養育費の受取り状況と金額

問17 問15である（①～⑥）と答えた方にお伺いします。あなたは養育費を受け取っていますか。受け取っている場合は金額も記入してください。

- ・「受け取っている」が57.0%で最も高く、前回調査より割合が高くなっています。
- ・一方で、「受け取っていない」が30.9%います。

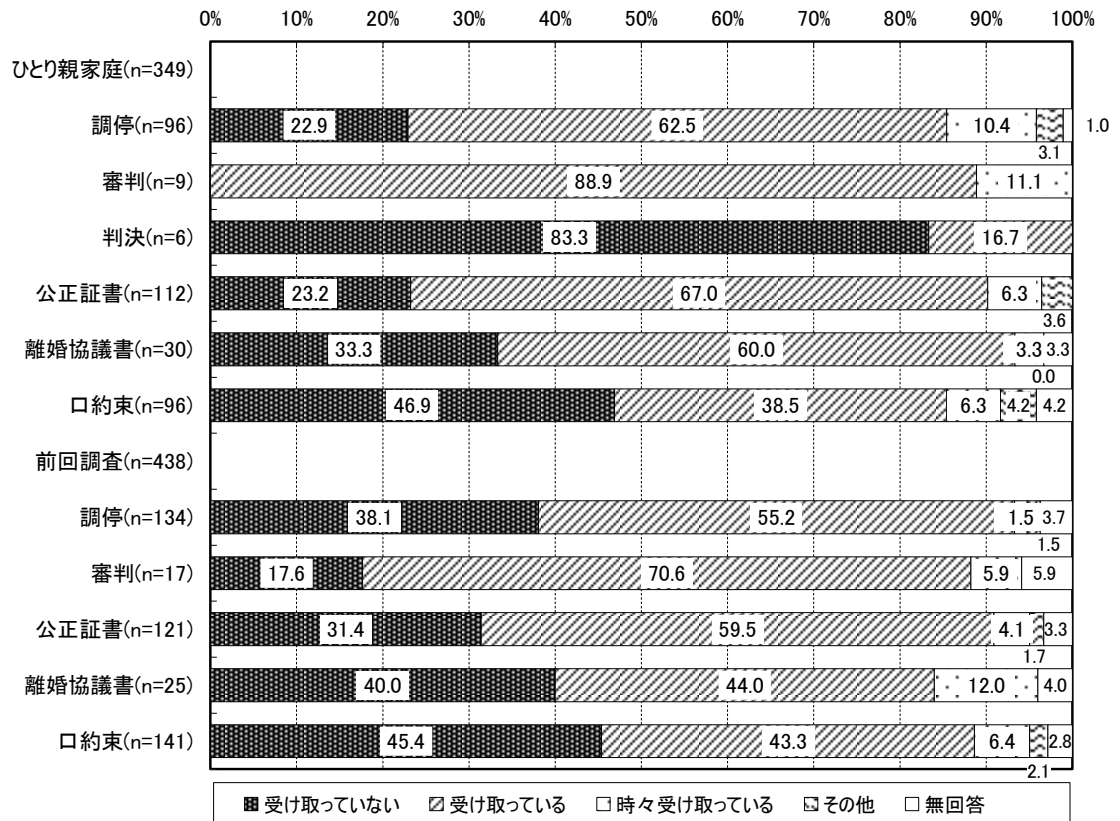


	受け取っている(199/349)		時々受け取っている(25/349)	
	回答割合(%)	養育費の平均金額(月平均)(円)	回答割合(%)	養育費の平均金額(1回)(円)
調停	62.5	50,246	10.4	42,500
審判	88.9	62,500	11.1	10,000
判決	16.7	70,000	0.0	-
公正証書	67.0	60,128	6.3	43,750
離婚協議書	60.0	54,688	3.3	30,000
口約束	38.5	41,944	6.3	23,000

（参考）前回調査

	受け取っている(230/438)		時々受け取っている(20/438)	
	回答割合(%)	養育費の平均金額(月平均)(円)	回答割合(%)	養育費の平均金額(1回)(円)
調停	55.2	44,464	1.5	30,000
審判	70.6	52,727	5.9	30,000
判決				
公正証書	59.5	48,099	4.1	27,500
離婚協議書	44.0	55,900	12.0	46,667
口約束	43.3	43,695	6.4	31,250

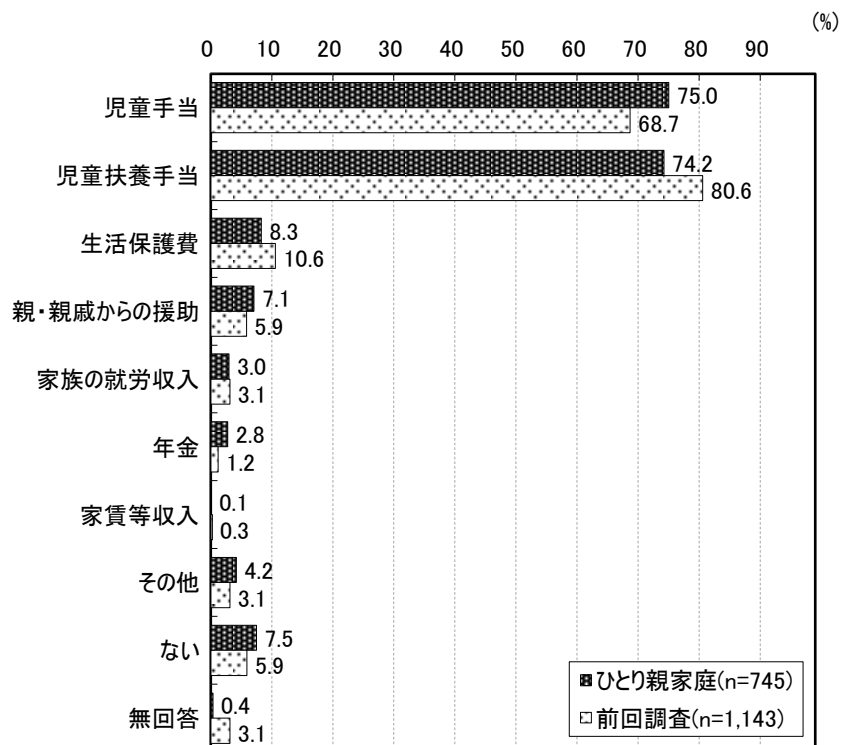
Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）



(18) 就労や養育費以外の収入〈複数回答〉

問18 あなたの世帯では、あなたの就労や養育費以外にはどのような収入がありますか。

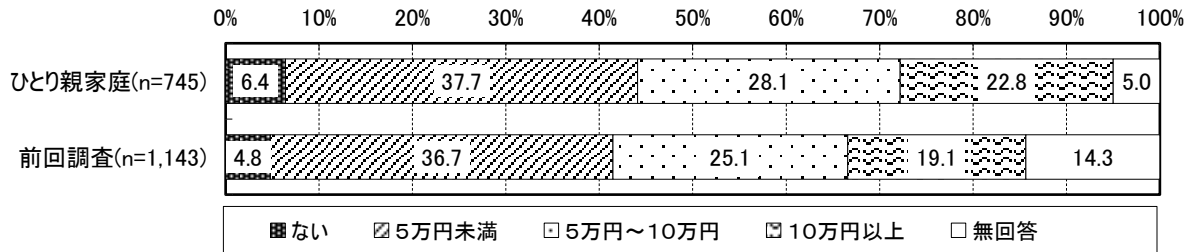
・「児童手当」「児童扶養手当」と答える人の割合が高くなっています。



（19）就労や養育費以外の収入の金額

問19 問18の収入の合計額は、月額でおよそいくらでしたか？

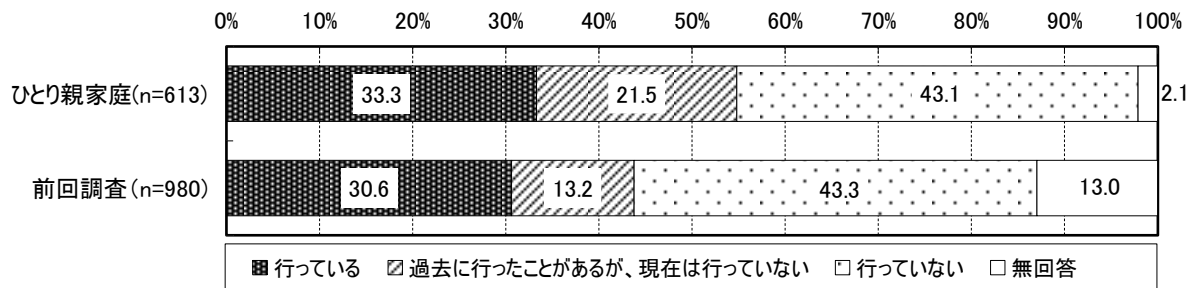
- ・「5万円未満」が37.7%で最も高くなっています。



（20）親子交流の実施状況

問20 問4で①離婚と答えた方にお伺いします。親子交流（離婚後又は別居中に子どもを養育・監護していない方の親が子どもと面会等を行うこと）の実施状況について、あてはまるものに○をつけてください。また、その回数、理由を記入してください。

- ・「過去に行ったことがあるが、現在は行っていない」「行っていない」を加えると、現在行っていないは64.6%で、前回調査より増加しています。



「行っている」の月回数

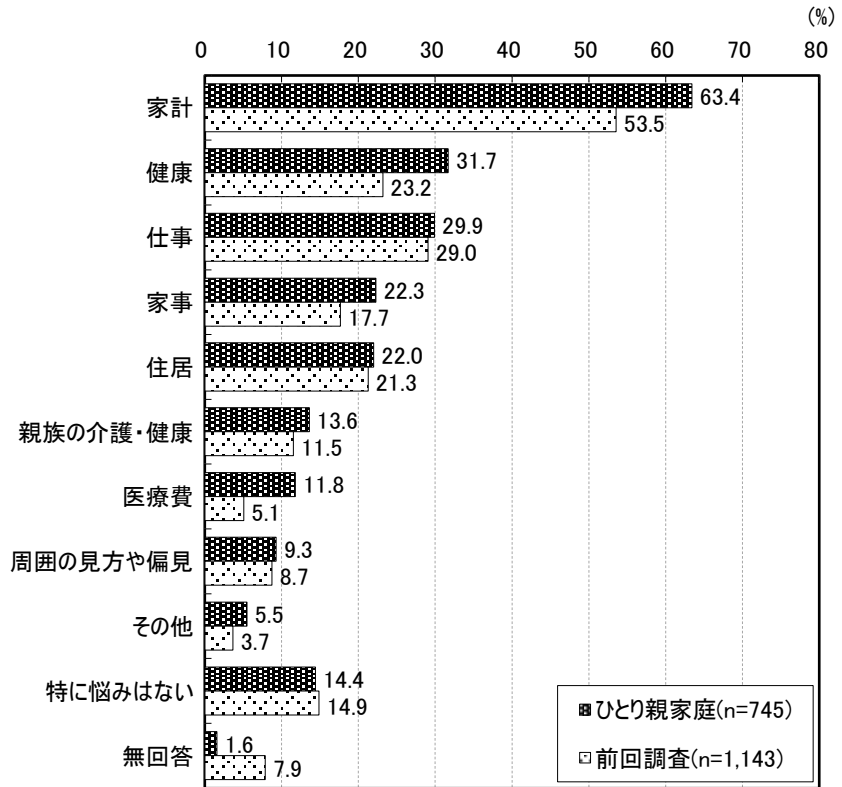
	月平均回数
ひとり親家庭(204/613)	1.92
前回調査(300/980)	1.30

（21）困っていること〈複数回答〉

問21 ご自身及びお子さんのことで、困っていることはありますか。

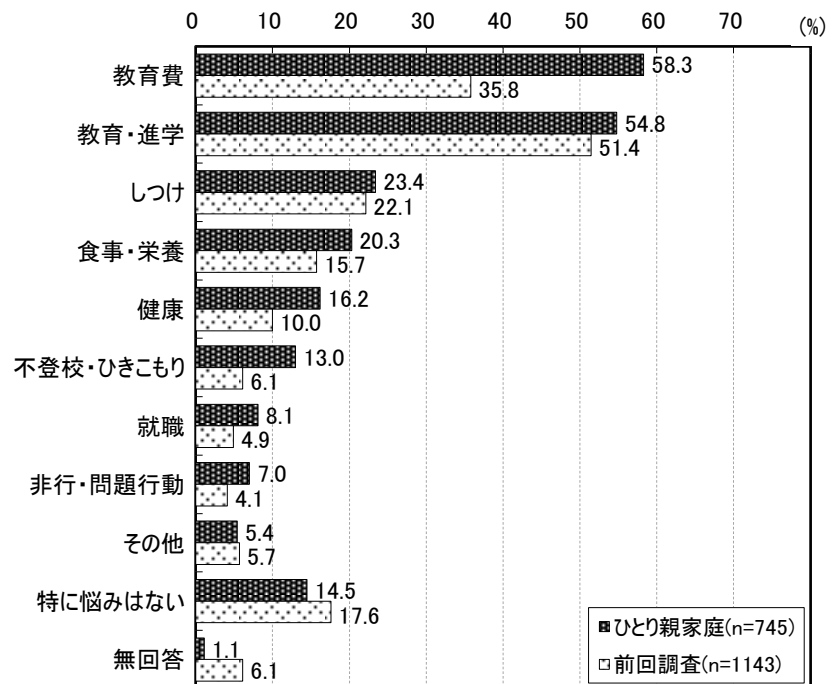
- ・ ご自身のことで、「家計」が63.4%で最も高くなっています。
- ・ お子さんのことで、「教育費」「教育・進学」の割合が高くなっています。

【ご自身のこと】



※選択肢「医療費」は前回調査では「医療費が高い」

【お子さんのこと】

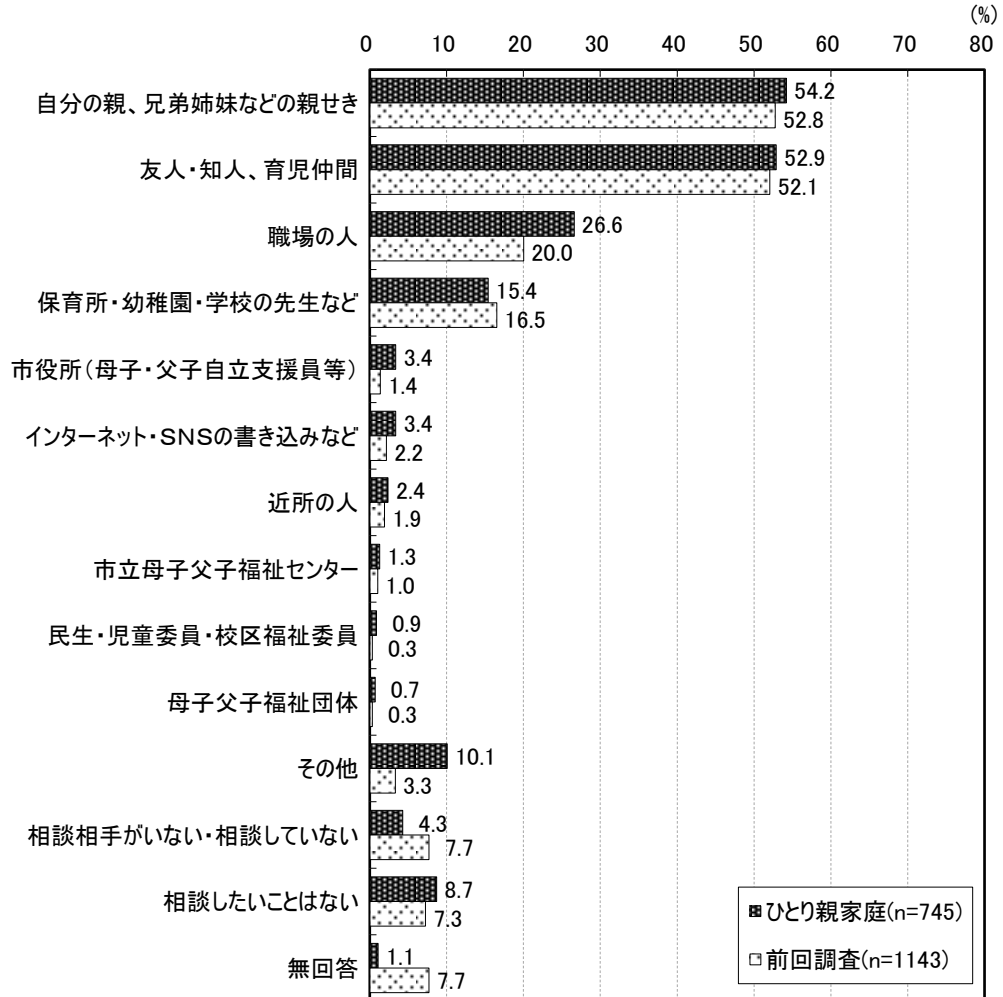


※選択肢「教育費」は前回調査では「教育費が高い」

（22）子育てに関する悩みの相談先〈複数回答〉

問22 子育てに関する悩みや不安について、誰に相談していますか。

- ・「自分の親、兄弟姉妹などの親せき」「友人・知人、育児仲間」の割合が高くなっています。



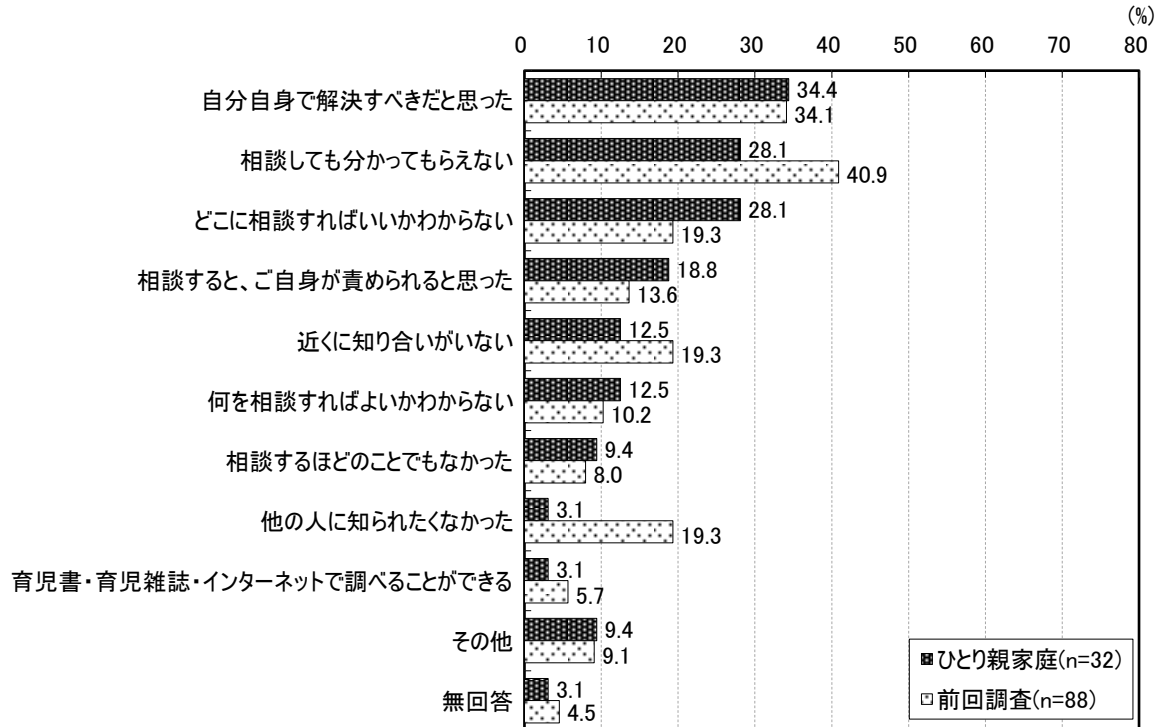
[その他の意見]

- ・ 豊中市教育センター
- ・ 豊中市立児童発達支援センター
- ・ 放課後等デイサービス
- など

（23）相談できない理由〈複数回答〉

問23 問22で⑬相談相手がいない・相談していないと答えた方にお伺いします。それはどうしてですか？

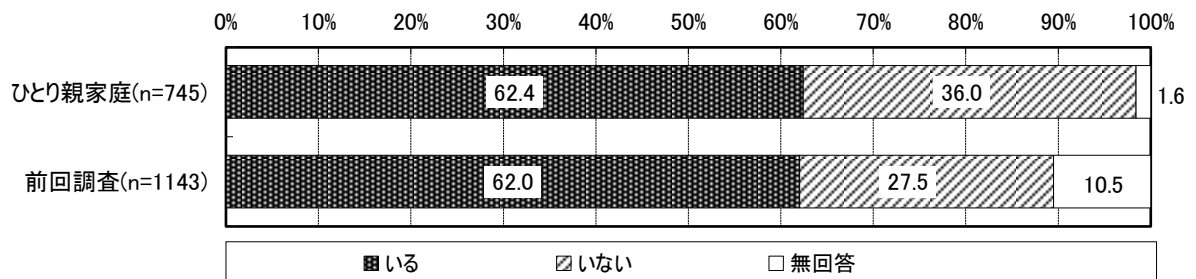
- ・「自分自身で解決すべきだと思った」が34.4%で最も高く、次いで「相談しても分かってもらえない」が40.9%となっています。



（24）日常的に話をする人の有無

問24 お住まいの近くで日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

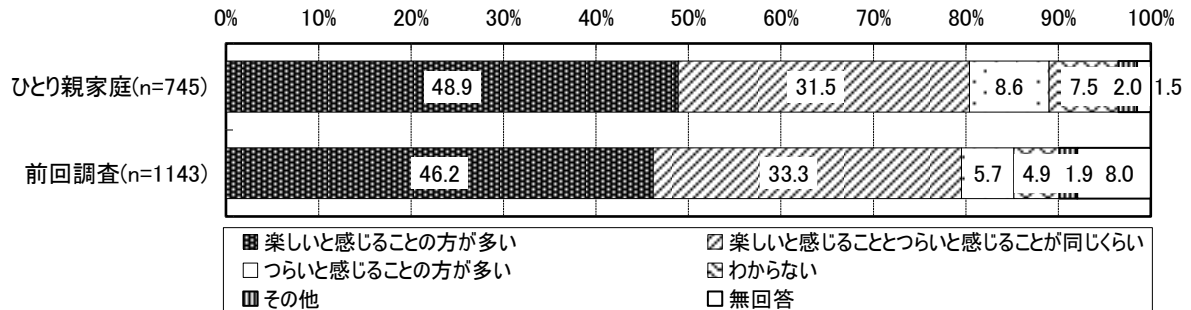
- ・「いる」が62.4%となっています。



（25）子育てについての感じ方

問25 あなたは、子育てについてどう感じていますか。

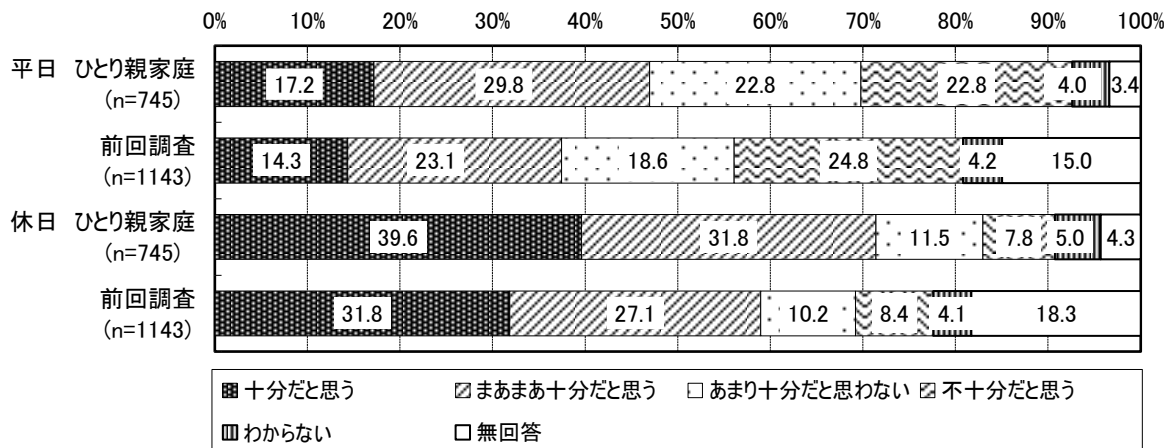
- ・「楽しいと感じることの方が多い」が48.9%で最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が31.59%となっています。



（26）子どもと過ごす時間

問26 1日あたりの子どもと一緒に過ごす時間(子どものお世話をしたり、一緒に遊ぶなど実際にふれあう時間)はどれくらいですか。また、その平均的な時間についてお伺いします。

- ・平日では、「まあまあ十分だと思う」が29.8%で最も高くなっています。子どもと一緒に過ごす時間は、平均3.9時間となっており、前回調査よりやや短くなっています。
- ・休日では「十分だと思う」が39.6%で最も高くなっています。子どもと一緒に過ごす時間は、平均9.8時間となっており、前回調査よりやや短くなっています。



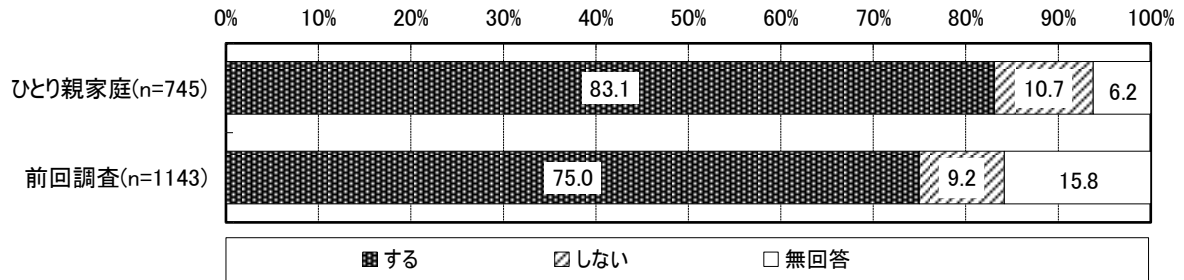
子どもと一緒に過ごす時間

	平日平均 (時間)	休日平均 (時間)
ひとり親家庭(n=745)	3.9	9.8
前回調査(n=1143)	4.2	10.1

(27) 子どもとの食事の有無

問27 1日1回は子どもと一緒に食事をしますか。

- ・「する」が83.1%を占めています。
- ・一番下の子どもの年齢層別では、子どもの年齢が低いほうが、「する」と答える人の割合が高くなる傾向があります。



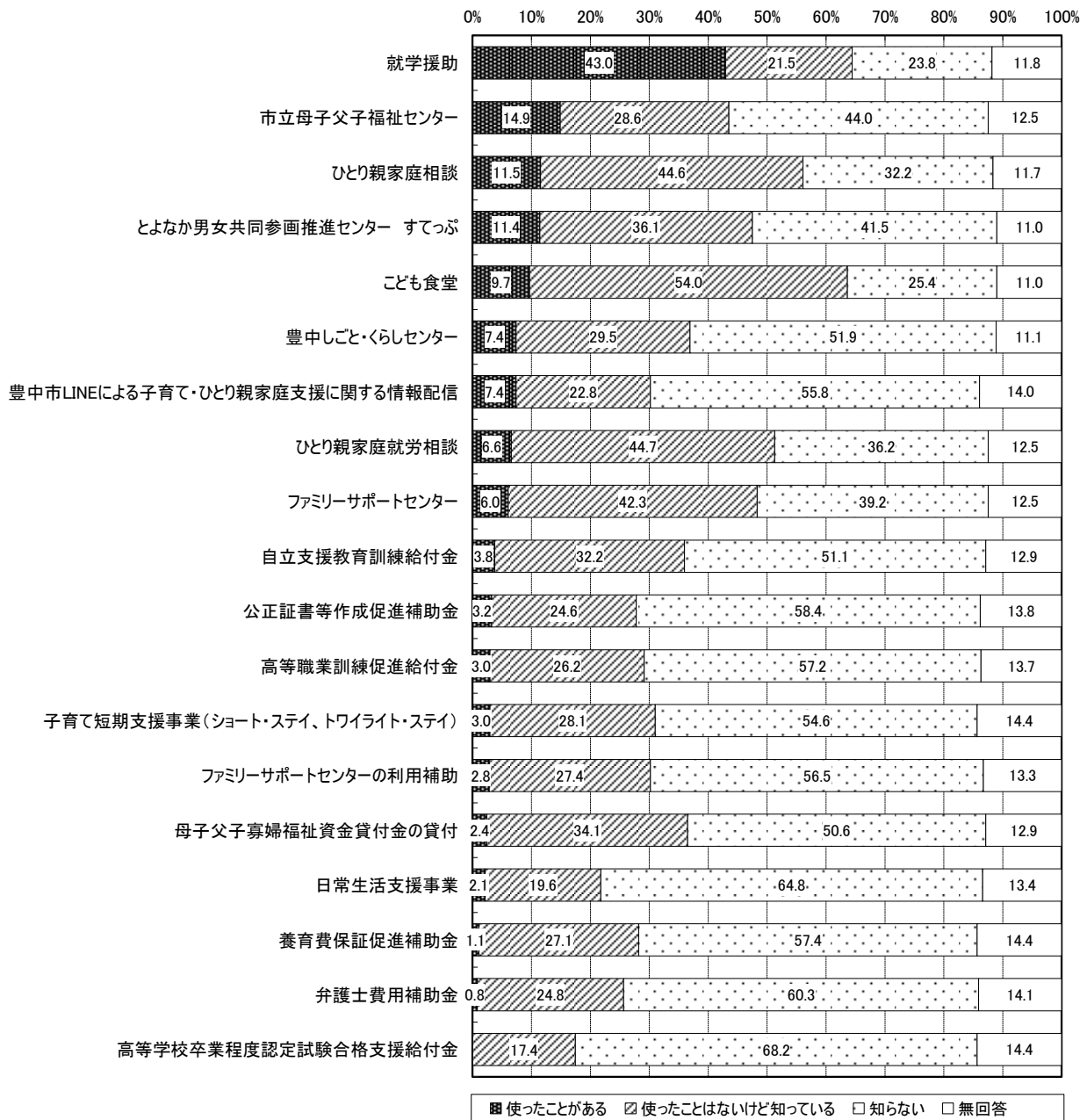
	(%)							
	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15～17歳	18歳以上	無回答
する	92.1	85.6	92.1	87.6	80.0	78.0	71.4	63.2
しない	7.9	6.7	3.5	6.2	15.0	17.6	23.8	10.5
無回答	0.0	7.8	4.4	6.2	5.0	4.4	4.8	26.3

（28）ひとり親家庭に関する事業や取組みの認知度・利用経験・利用希望

問28 次の施設や制度のうち、あなたが知っているもの、利用したいものについて○をしてください。

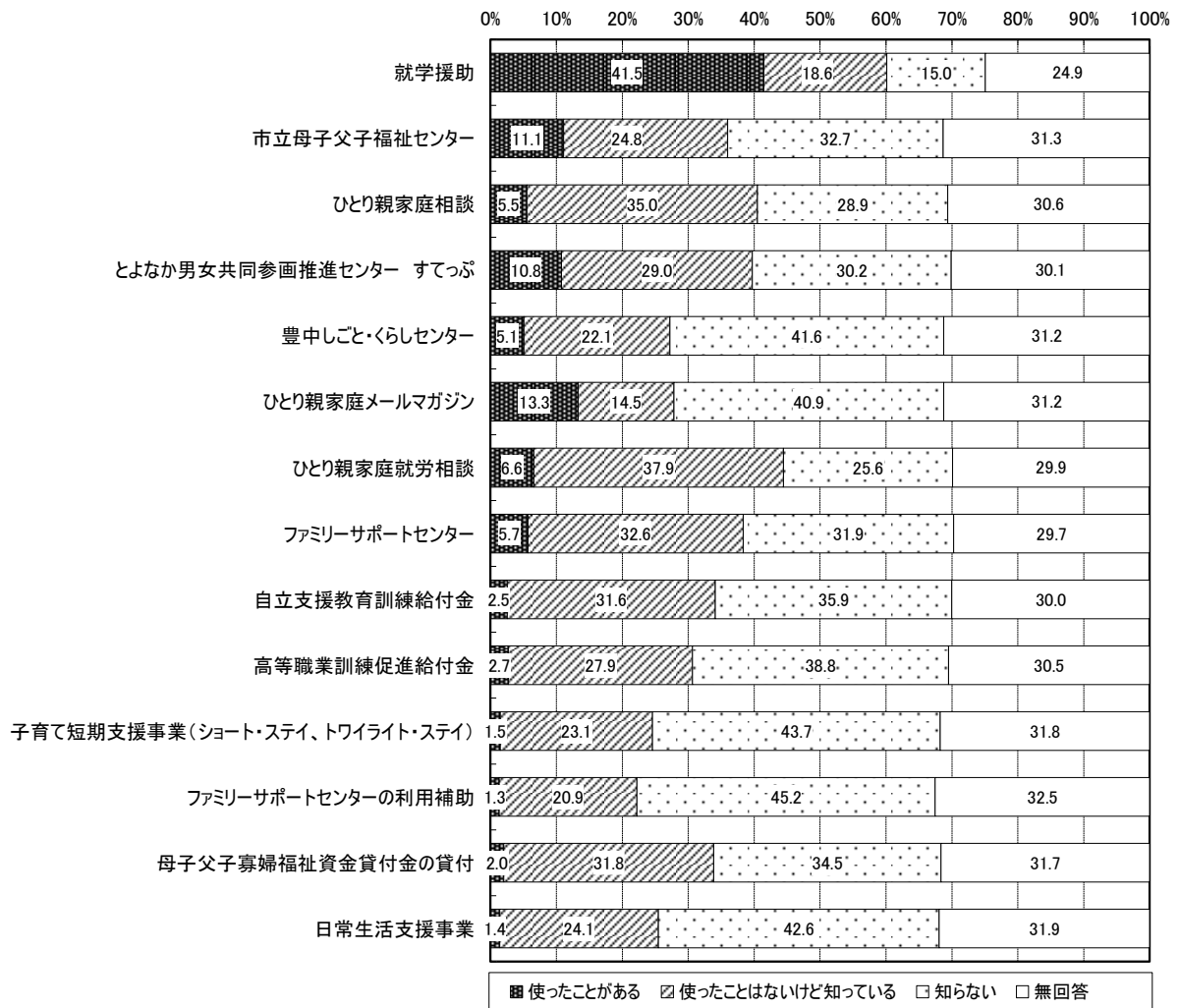
①認知度・利用経験

- ・就学援助については「使ったことがある」が43.0%と最も高くなっており、他の選択肢よりも割合が高くなっている。



Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）

（前回調査）

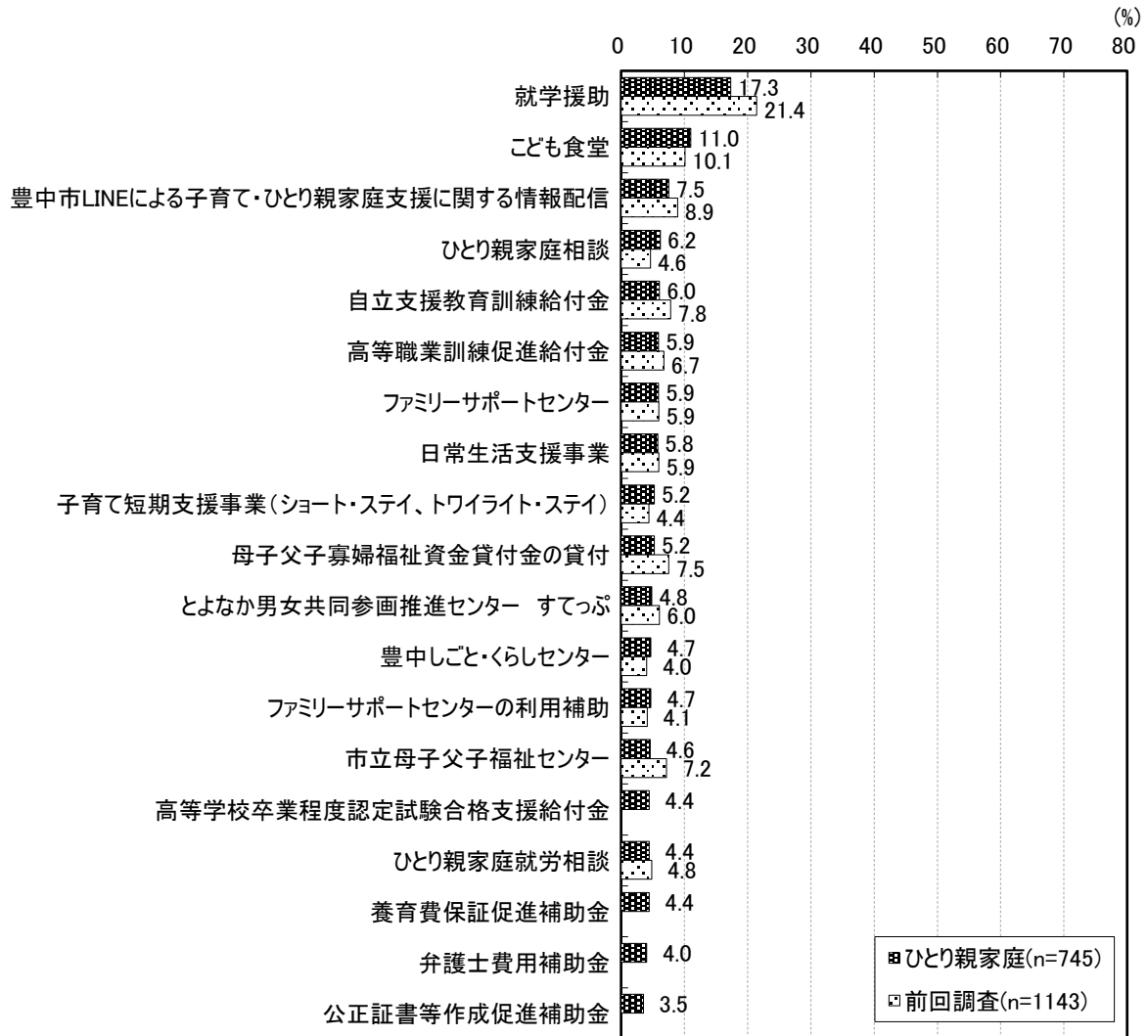


※選択肢「高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金」「養育費保証促進補助金」「公正証書等作成促進補助金」「弁護士費用補助金」は前回調査では設定していません

Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）

②利用希望

- ・就学援助については「使ってみたい、今後も使いたい」が17.3%、次いでこども食堂が11.0%と高くなっています。

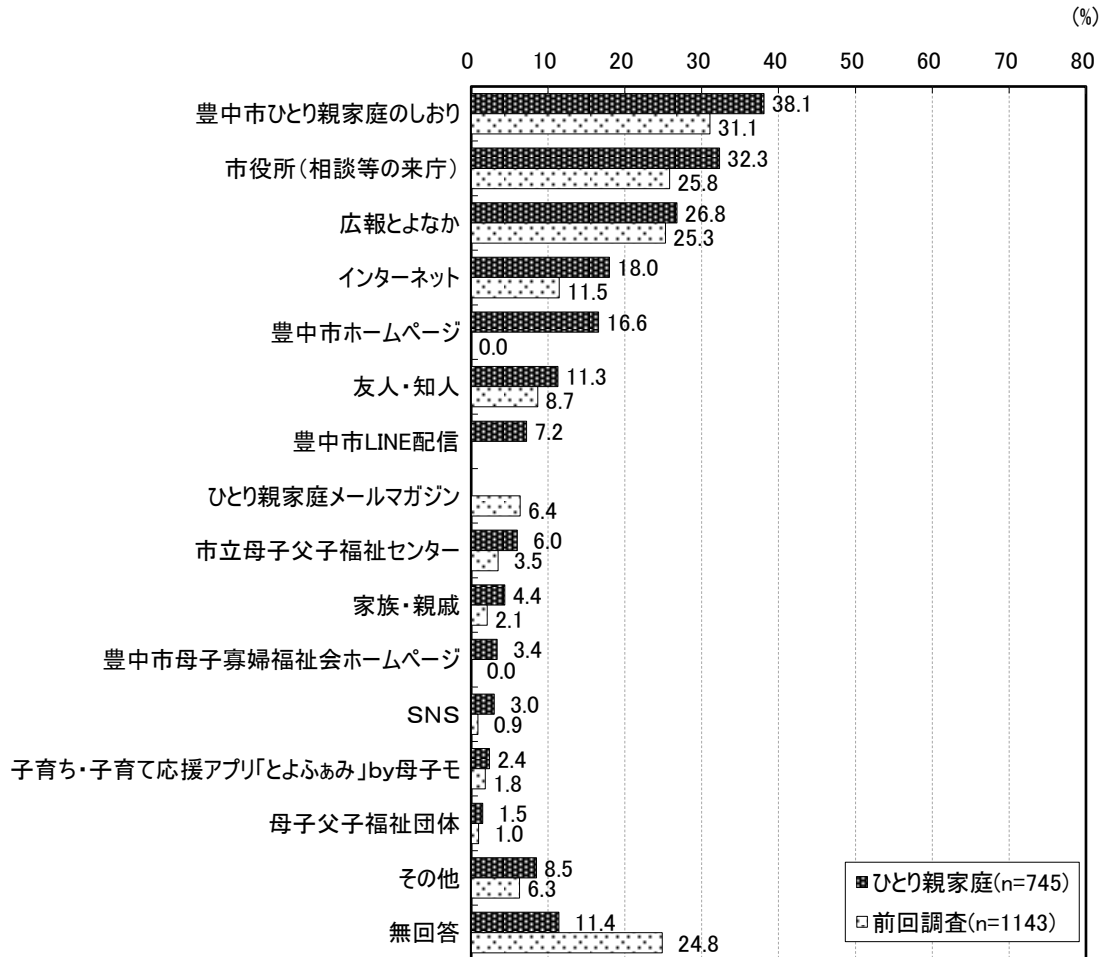


※選択肢「高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金」「養育費保証促進補助金」「公正証書等作成促進補助金」「弁護士費用補助金」は前回調査では設定していません

（29）ひとり親家庭に関する情報源〈複数回答〉

問29 問28に例示する施設や制度等の情報は主にどこで知りましたか。

- ・「豊中市ホームページ」等パソコンやスマートフォンを使用する情報源の割合が低くなっている一方、「豊中市ひとり親家庭のしおり」「市役所（相談等の来庁）」「広報とよなか」の割合が高くなっています。



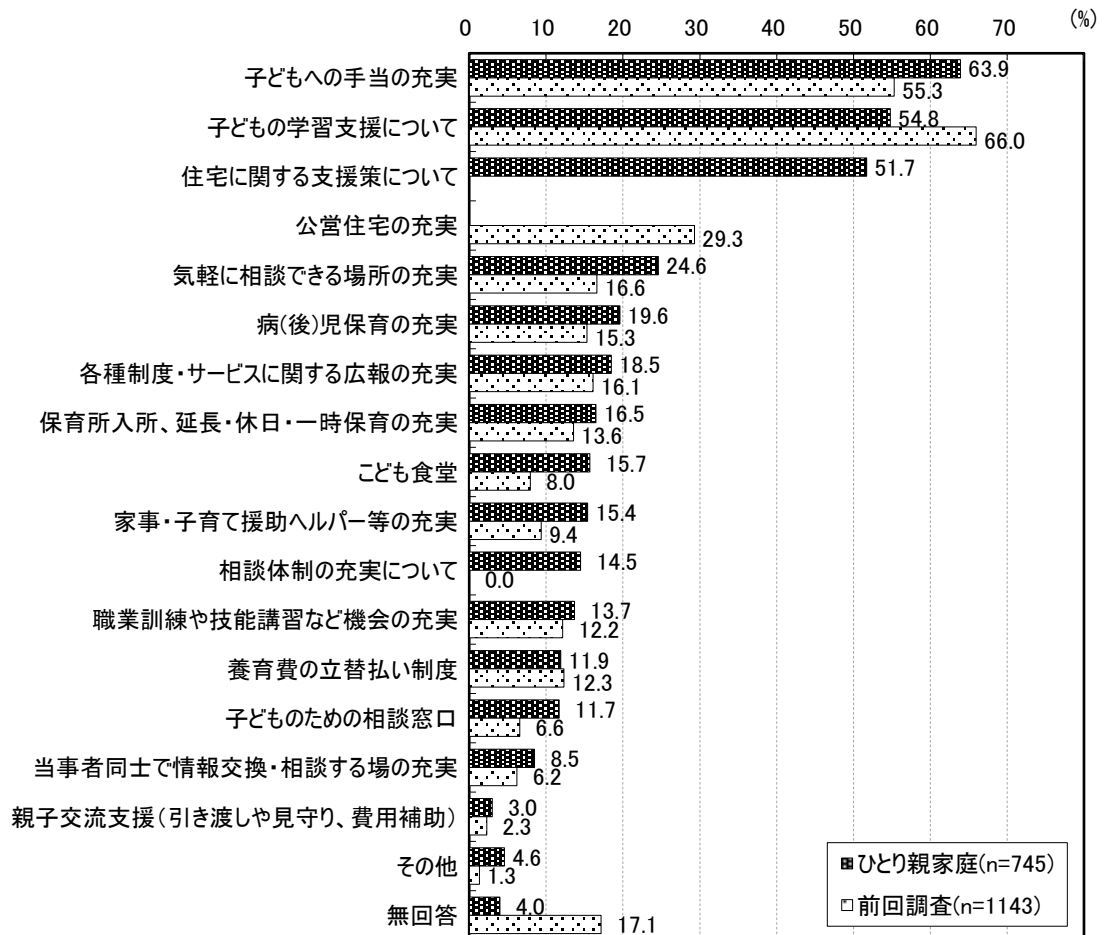
[その他の意見]

- ・ 学校からの配布物
- ・ 子ども食堂のチラシ
- など

（30）希望する支援策〈複数回答〉

問30 あなた自身、どのような支援策を望みますか。

- ・「子どもへの手当の充実」「子どもの学習支援について」「住宅に関する支援策について」の割合が高くなっています。



[その他の意見]

- ・ 休日に相談できる場所の設置
- ・ 放課後こどもクラブの入会条件の緩和
(小学5年生・6年生の利用)
- など

※選択肢「住宅に関する支援策について」は前回調査では設定していません
選択肢「公営住宅の充実」は今回調査では設定していません

相談体制の充実について(n=108)

	回答割合 (%)
オンライン相談の実施	56.5
夜間土日の相談の実施	68.5
その他	5.6
無回答	4.6

子どもの学習支援について(n=408)

	回答割合 (%)
学習支援ボランティアの派遣等	21.3
学校外での学習機会の提供	41.9
学習塾費用補助	86.5
その他	2.5
無回答	3.9

住宅に関する支援策について(n=385)

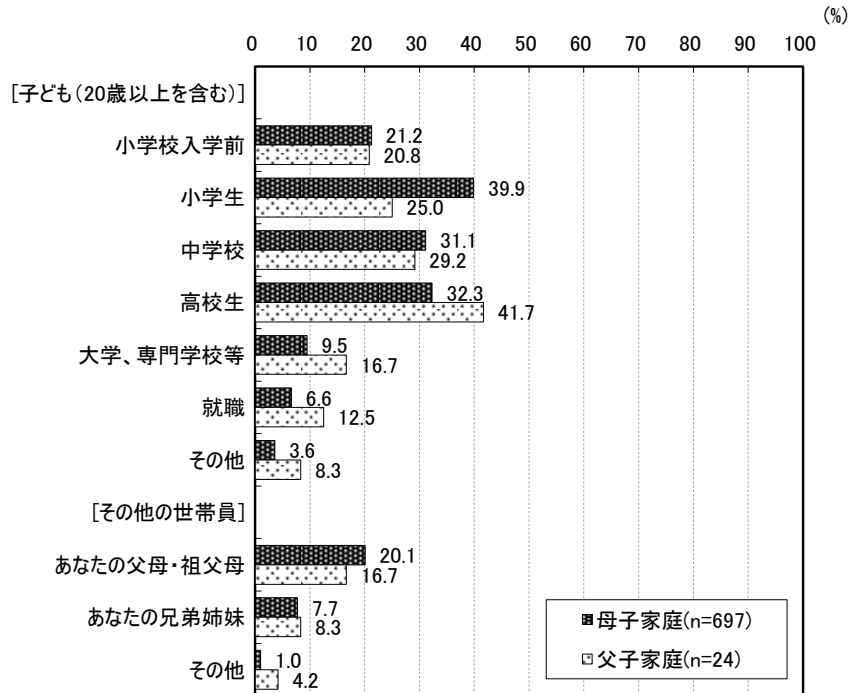
	回答割合 (%)
ひとり親家庭の公営住宅への優先入居	44.9
家賃補助	89.6
その他	3.9
無回答	2.3

2 母子家庭・父子家庭別の状況

（１）家族の構成

・母子家庭では「小学生」が最も高く、父子家庭では「高校生」が最も高くなっています。

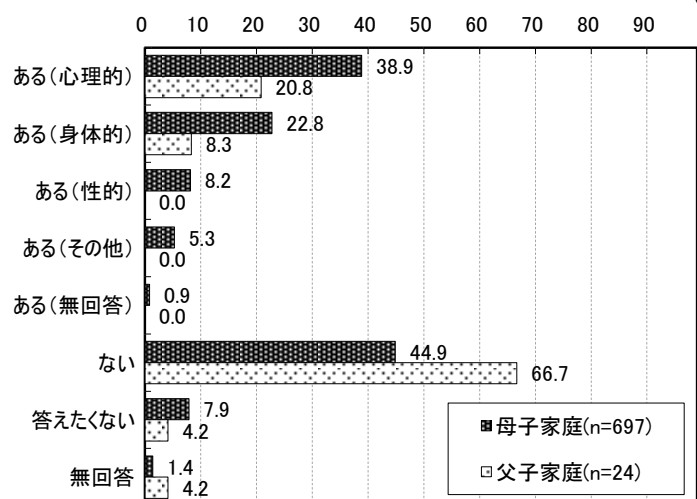
[家族の構成]



	平均年齢(歳)			平均年齢(歳)	
	母子家庭 (n=697)	父子家庭 (n=24)		母子家庭 (n=697)	父子家庭 (n=24)
ひとり親家庭になったときの あなたの年齢	34.9	37.8	令和5年4月1日現在の あなたの年齢	41.9	44.3
ひとり親家庭になったときの 一番下の子どもの年齢	4.2	5.2	令和5年4月1日現在の 一番下の子どもの年齢	10.4	11.9

（２）DVの経験

・母子家庭の母のほうが父子家庭の父よりも「ある」と答えた人の割合が高くなっています。

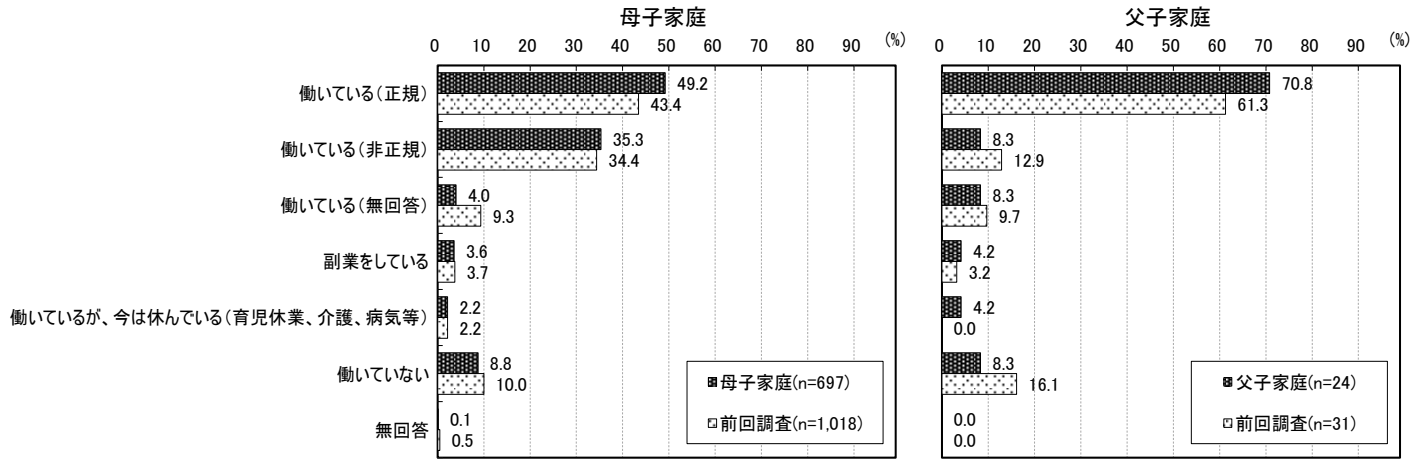


Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）

（３）就労・収入の状況

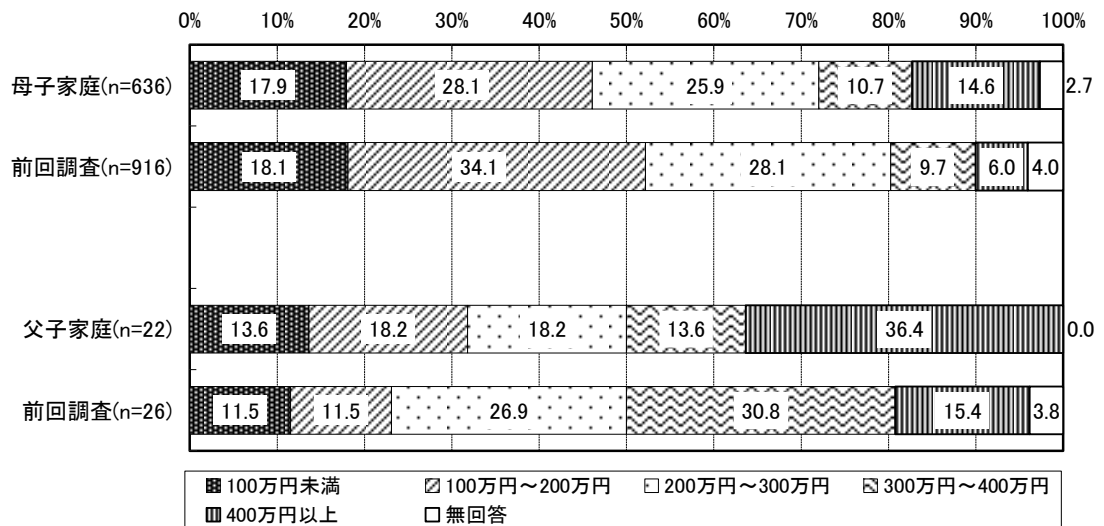
①就労状況

- ・ 父子家庭のほうが母子家庭より「働いている（正規）」の割合が高くなっており、一方で母子家庭のほうが父子家庭より「働いている（非正規）」の割合が高くなっています。



②収入

- ・ 母子家庭では「100万円～200万円」が最も高くなっており、父子家庭では「400万円以上」が最も高くなっています。

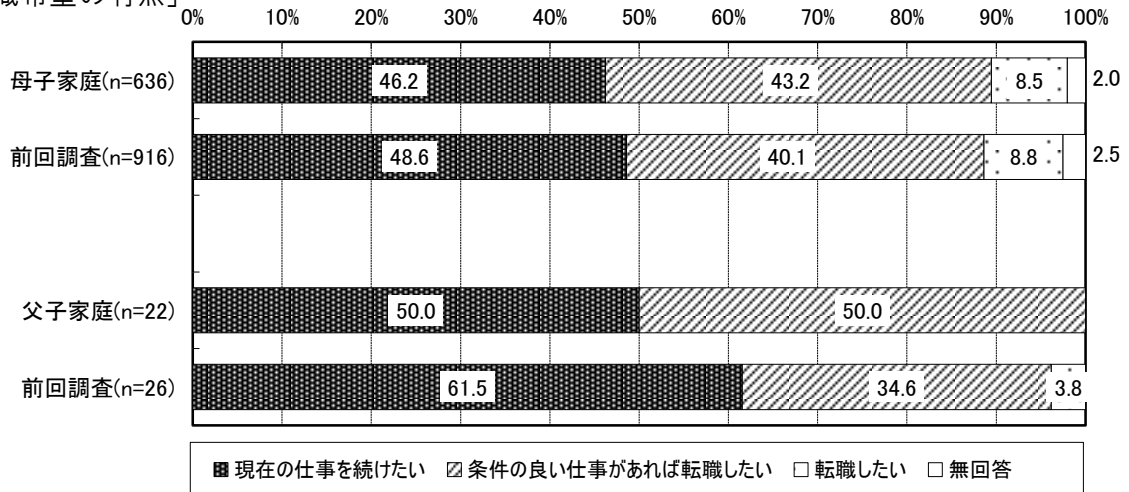


Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）

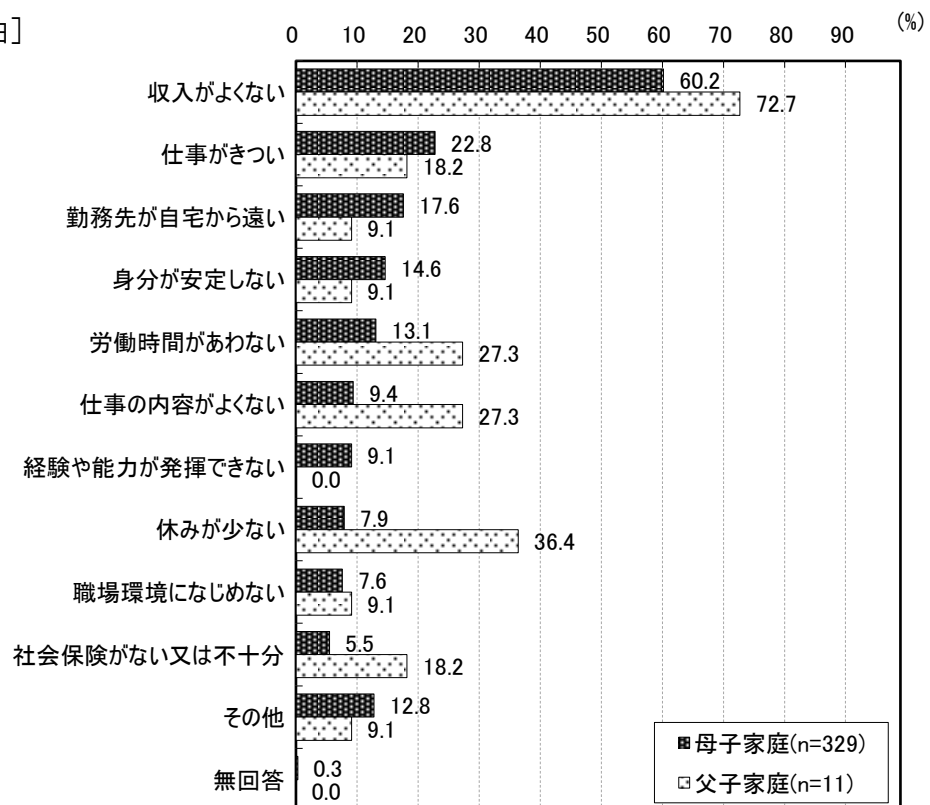
③ 転職希望

- ・母子家庭と父子家庭ともに「条件の良い仕事があれば転職したい」の割合が前回調査より高くなっています。
- ・転職したい理由としては、母子家庭と父子家庭ともに「収入がよくない」が最も高くなっています。母子家庭では、次いで「仕事がきつい」「勤務先が自宅から遠い」の割合が高くなっていますが、父子家庭では「休みが少ない」「労働時間があわない」「仕事の内容がよくない」の割合が高くなっています。

[転職希望の有無]

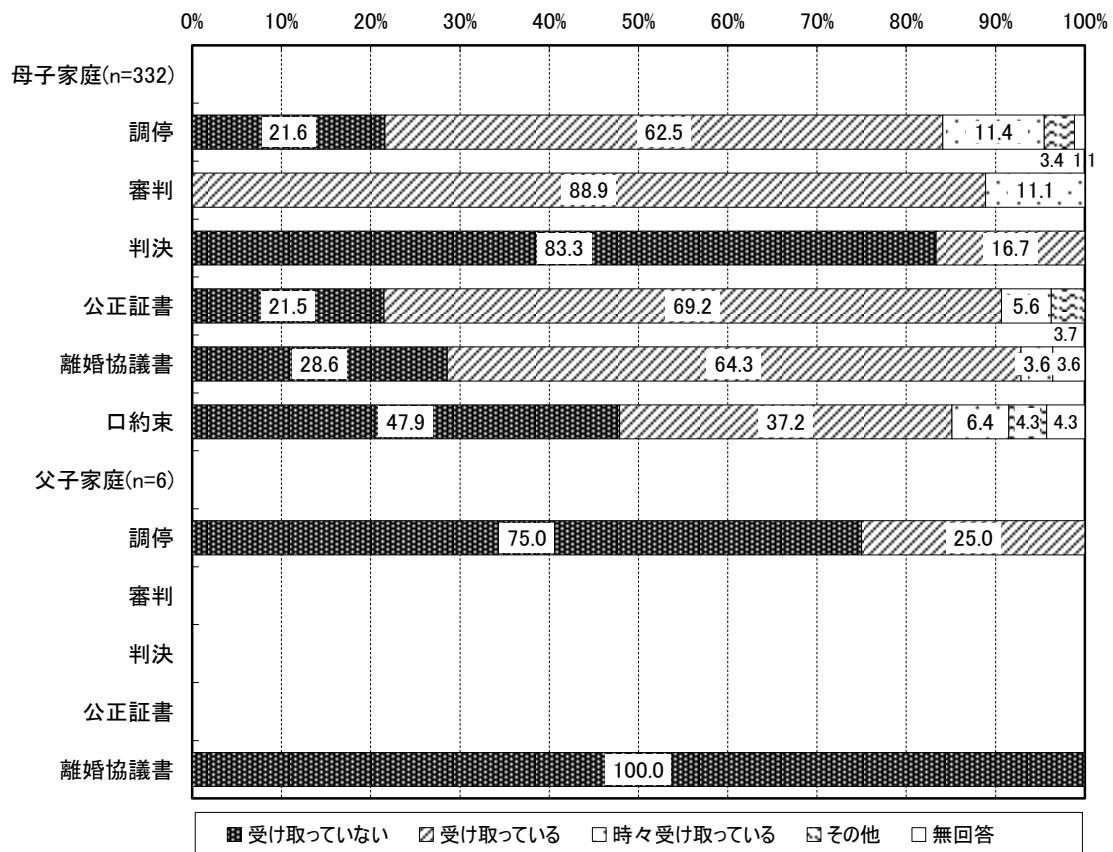
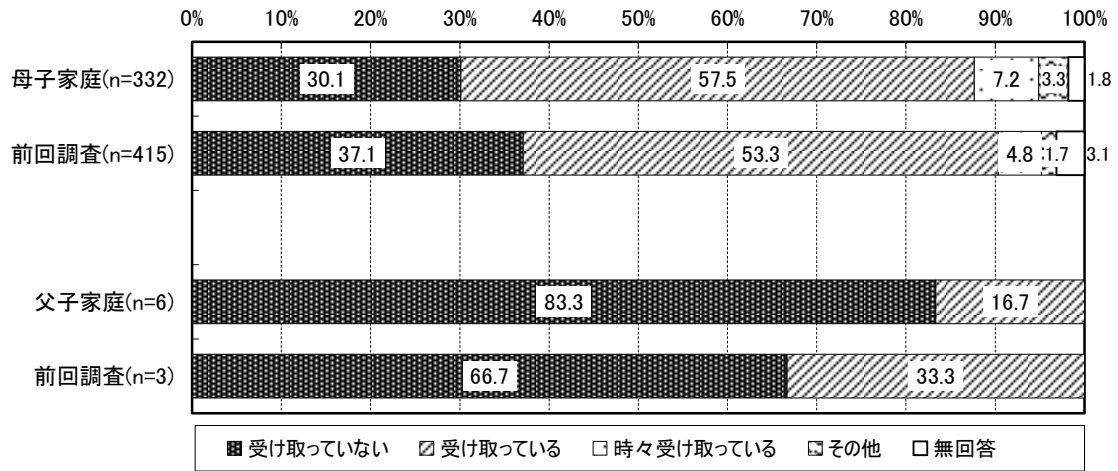


[転職したい理由]



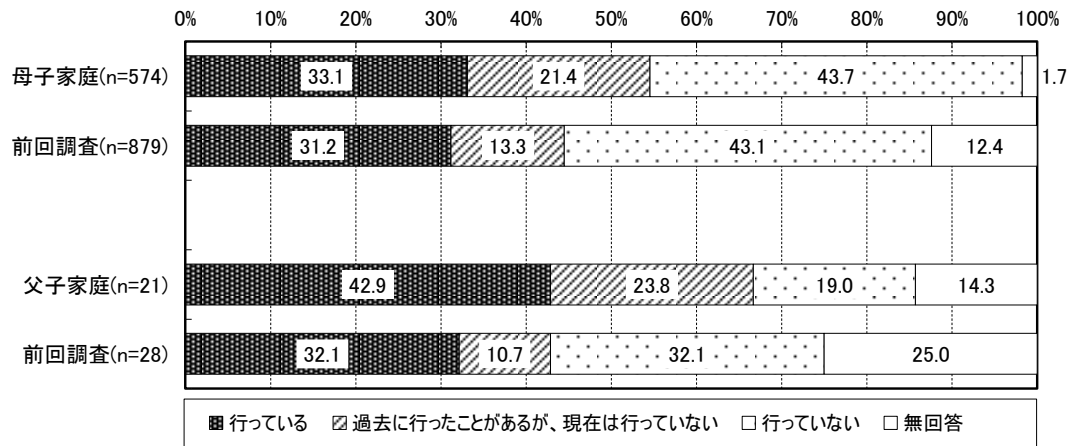
（４）養育費の受取り状況

- ・母子家庭のほうが父子家庭より「受け取っている」の割合が高く、前回調査より割合が高くなっています。



（５）親子交流の実施状況

- ・ 父子家庭のほうが母子家庭より「行っている」の割合が高く、前回調査より割合が高くなっています。
- ・ 父子家庭のほうが母子家庭より「行っている」の月回数は多く、母子家庭と父子家庭ともに、前回調査より回数が増えています。



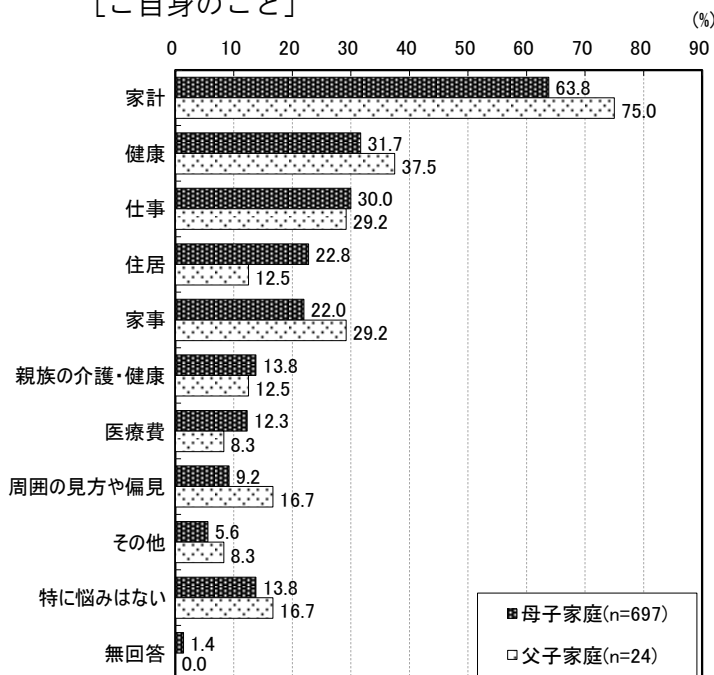
「行っている」の月回数

	月平均回数		月平均回数
母子家庭(n=574)	1.86	父子家庭(n=21)	2.50
前回調査(n=879)	1.27	前回調査(n=28)	1.87

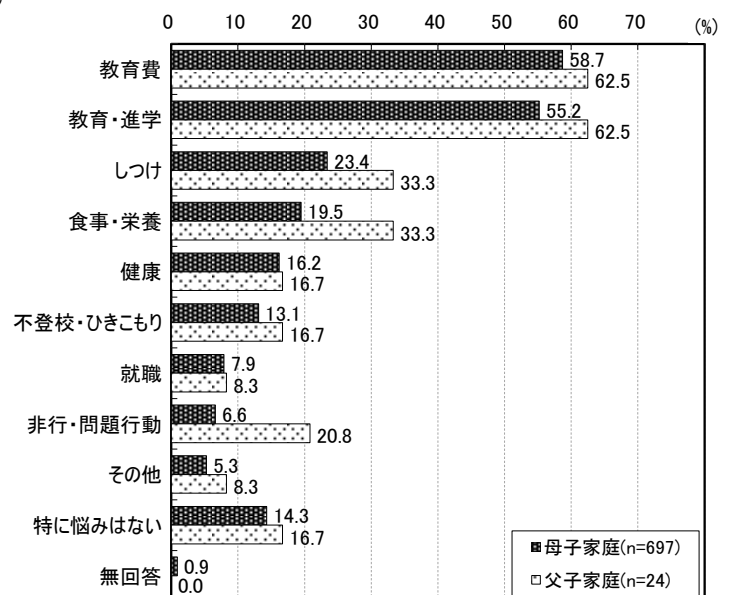
（６）困っていること

- ・ ご自身のこととお子さんのこととともに、父子家庭のほうが母子家庭より全体的に困っている割合が高くなっています。
- ・ お子さんのことについては、特に「しつけ」「食事・栄養」「非行・問題行動」の割合が父子家庭のほうが高くなっています。

〔ご自身のこと〕

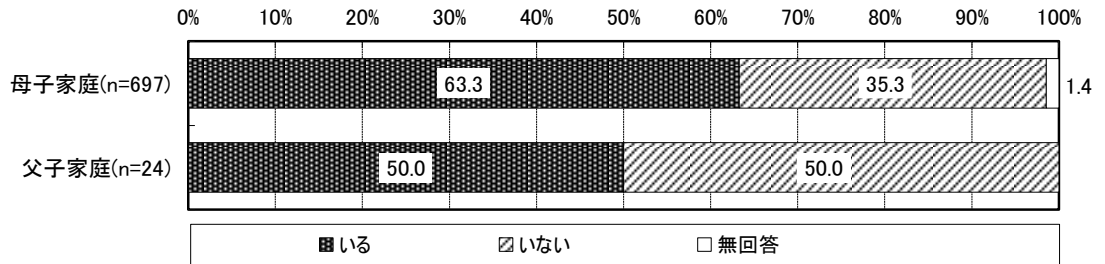


〔お子さんのこと〕



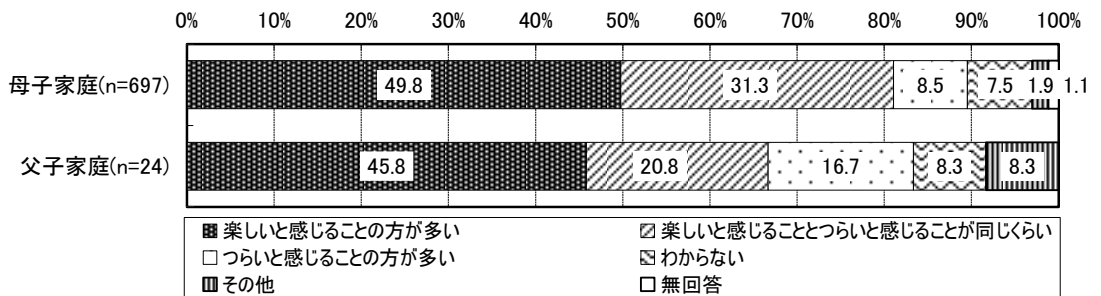
（７）日常的に話をする人の有無

- ・母子家庭のほうが父子家庭より「いる」の割合が高くなっています。



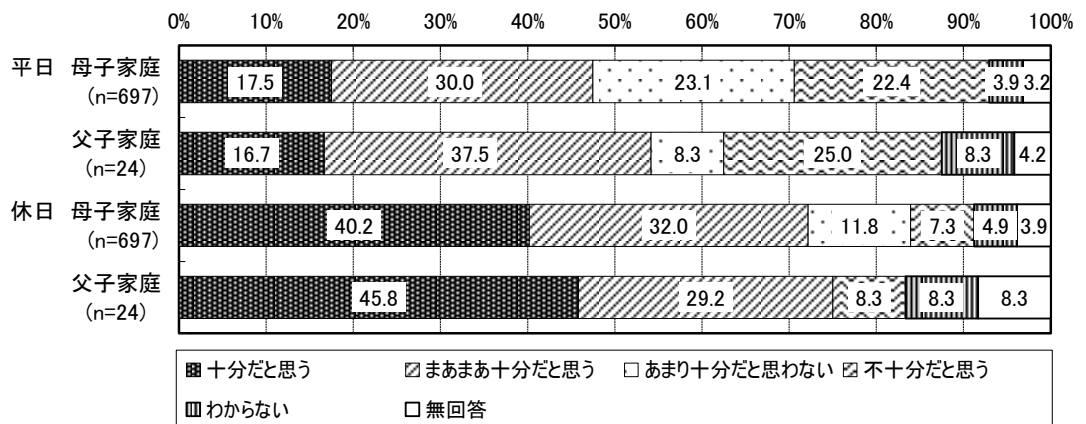
（８）子育てについての感じ方

- ・母子家庭のほうが父子家庭より「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が高くなっています。
- ・父子家庭のほうが母子家庭より「つらいと感じることの方が多」の割合が高くなっています。



（９）子どもと過ごす時間

- ・平日において、母子家庭のほうが父子家庭より「あまり十分だと思わない」の割合が高くなっています。
- ・平日と休日ともに、母子家庭のほうが子どもと一緒に過ごす時間が長くなっています。



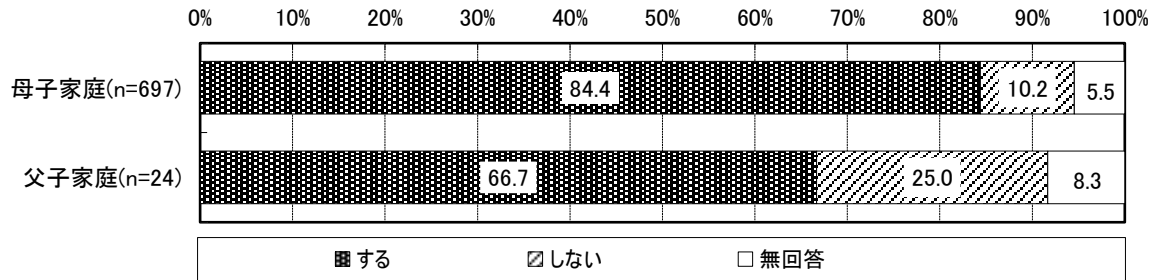
子どもと一緒に過ごす時間

	平日平均 (時間)	休日平均 (時間)
母子家庭(n=697)	3.9	9.9
父子家庭(n=24)	3.0	8.8

Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）

（10）子どもとの食事の有無

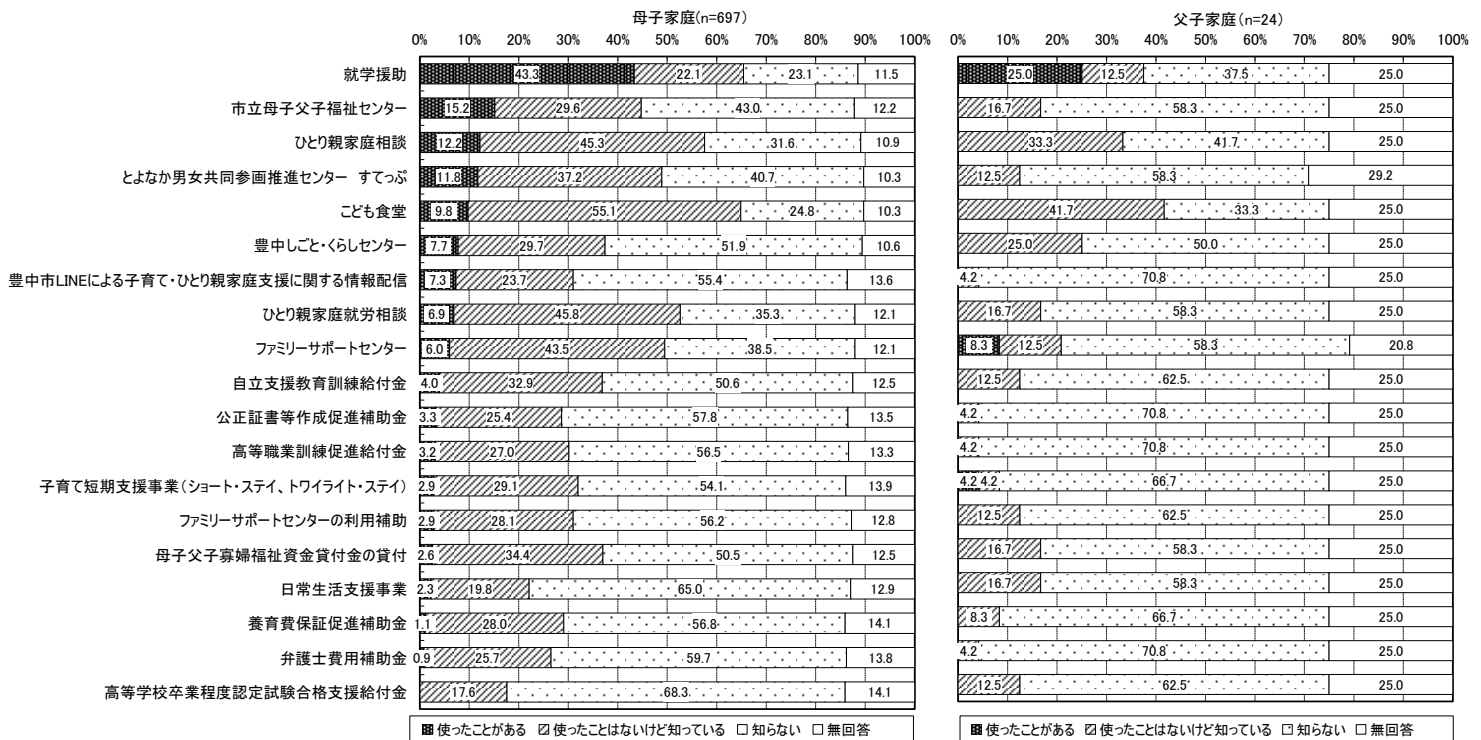
- ・母子家庭のほうが父子家庭より「する」の割合が高くなっています。



（11）ひとり親家庭に関する事業や取組みの認知度・利用経験・利用希望

①認知度・利用経験

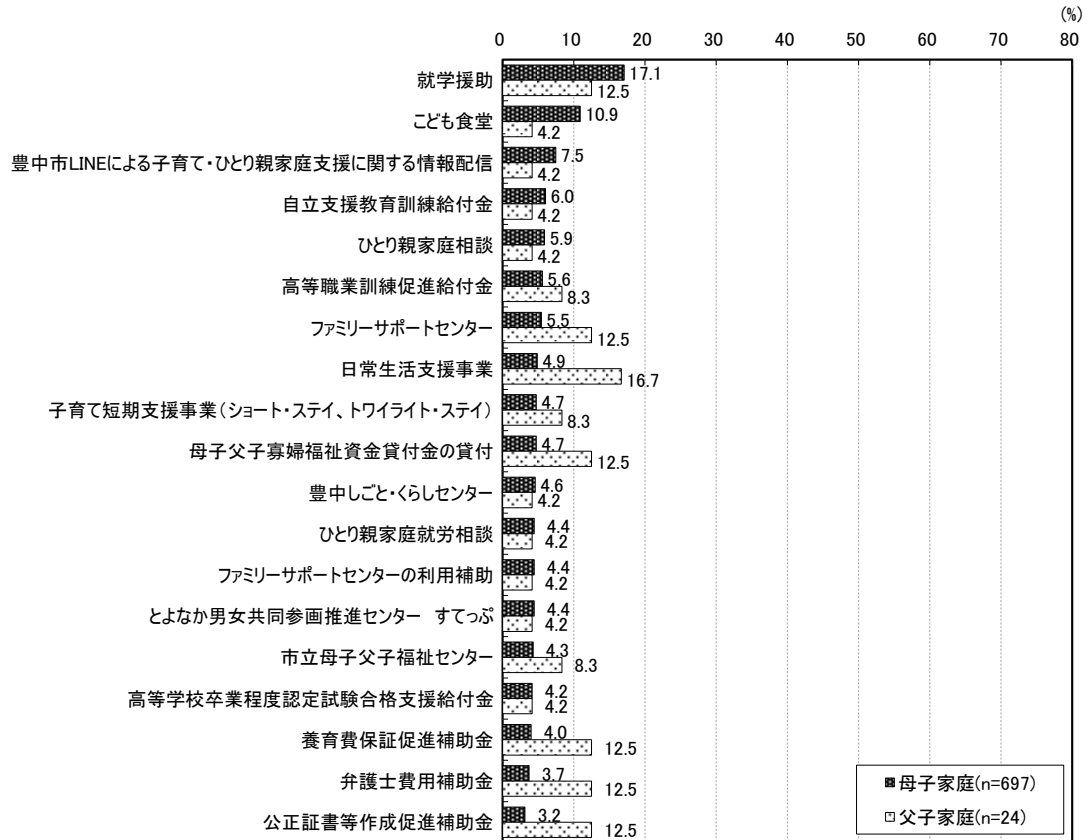
- ・就学援助については、母子家庭と父子家庭ともに「使ったことがある」の割合が高くなっています。
- ・父子家庭のほうが母子家庭より、全体的に認知度や利用経験が少ない傾向がみられます。



Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）

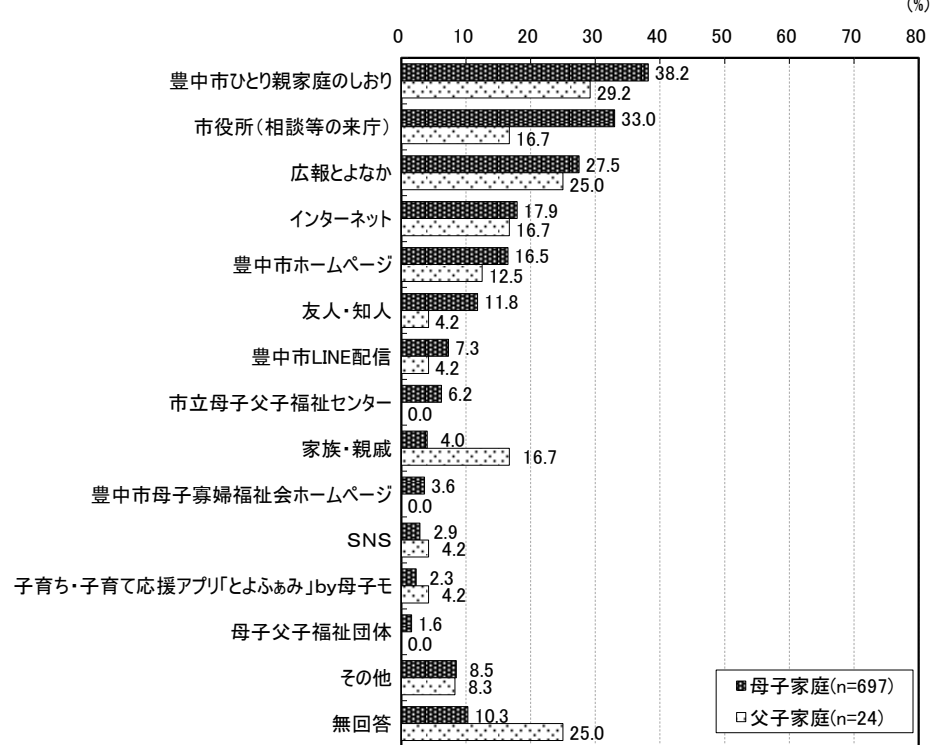
②利用希望

- ・母子家庭では「就学援助」「子ども食堂」の割合が高くなっています。
- ・父子家庭では「日常生活支援事業」「就学援助」「ファミリーサポートセンター」「母子父子寡婦福祉資金貸付金の貸付」「養育費保証促進補助金」「弁護士費用補助金」「公正証書等作成促進補助金」の割合が高くなっています。



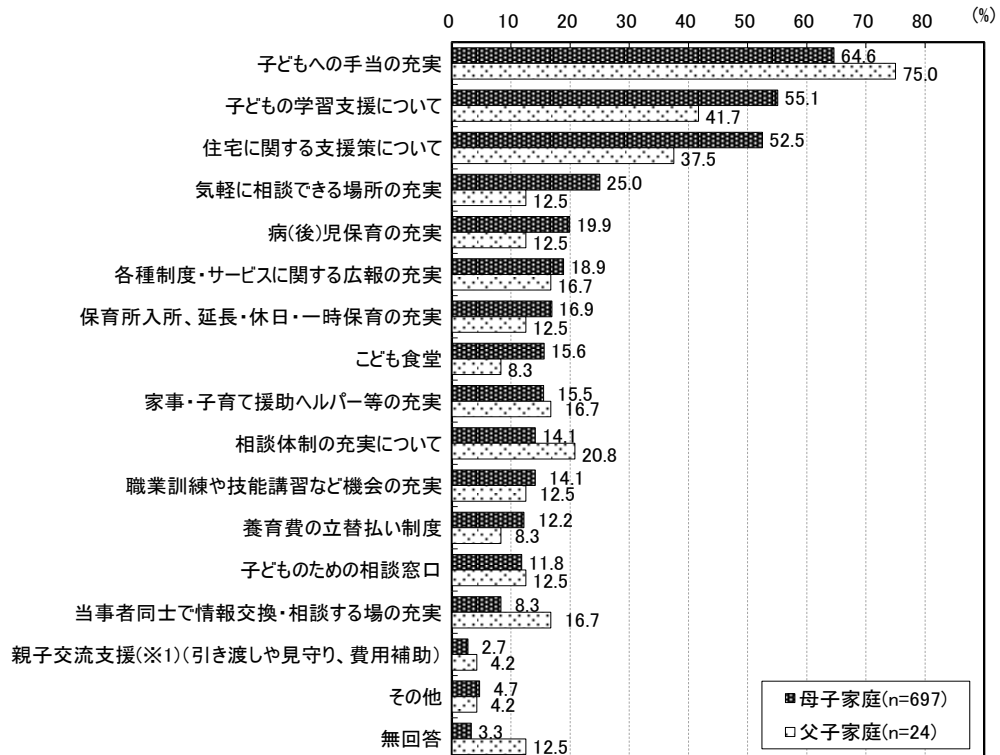
（12）ひとり親家庭に関する情報源

- ・母子家庭では父子家庭より「市役所（相談等の来庁）」の割合が特に高くなっています。
- ・父子家庭では母子家庭より「家族・親戚」の割合が特に高くなっています。



（13）希望する支援策

- ・父子家庭では母子家庭より「子どもへの手当の充実」「相談体制の充実について」「当事者同士で情報交換・相談する場の充実」の割合が特に高くなっています。
- ・母子家庭では父子家庭より「子どもの学習支援について」「住宅に関する支援策について」「気軽に相談できる場所の充実」「病(後)児保育の充実」の割合が特に高くなっています。



（14）自由回答意見

・調査票末尾の自由回答意見欄には、238名から、延べ408件の記入がありました。

1. 子育て・生活支援について		69 件
住宅に関すること （主な意見） ・少しでも家賃補助が出ると助かる、家賃補助してもらいたい ・市営住宅の優先と収入条件を緩和して入居しやすくしてほしい		22 件
将来への不安 （主な意見） ・子供が病気になった時に数日休まなければならない ・病院代・生活費が心配 ・介護、子育て、仕事への不安、孤独感・孤立感、夜勤もあり夜に私が居ない		21 件
家事育児、日常生活に関すること （主な意見） ・自宅での家事・育児を安価で頼めると心に余裕ができる、家事代行サービスを安価で利用できるようにしてほしい ・衛生用品を得られるような仕組み、食料品や日用品の援助をしてほしい		19 件
病児保育に関すること （主な意見） ・仕事を続けていくことが、子供と母での生活を続けていくうえで1番重要だと思います。子供が病気の時の預け先を充実させてほしいです ・場所をもっと増やしてほしい、枠が少なすぎて利用できない		7 件
2. 経済的支援		139 件
教育費に関すること （主な意見） ・大学生になる頃にはかなり余裕がなくなる、今は生活できているけど将来に不安しかない ・塾に行かせてやりたい、英検など受験に必要な資格の補助がほしい ・学費やその他にもいる費用が心配		64 件
児童扶養手当に関すること （主な意見） ・受給要件の収入が低すぎる、頑張るほど手当がなくなる ・物価高になったので手当の金額の増額をもっとしてほしい ・18才でなく就職するまでにしてほしかった		63 件

Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）

	医療費に関すること （主な意見） ・収入に関係なく、ひとり親家庭は医療費を補助してほしい	6 件
	養育費に関すること （主な意見） ・相手から養育費をもらえる制度ができればいい ・離婚まで遡って養育費を請求できればいい	6 件
3. 子どもへの支援		31 件
	学習支援に関すること （主な意見） ・学習面にまで手が回らず進路が不安、学習支援教室が近くにあればとてもありがたい、オンラインでいいので宿題をみってくれる支援	7 件
	医療費に関すること （主な意見） ・大学や専門学校に通学の間は手当や医療費の補助をして欲しい	5 件
	子どもの居場所に関すること （主な意見） ・学童保育が終わる小学5～6年生の居場所があればひとり親家庭は安心して働くことができるのでこちらもぜひお願いしたい ・学童は土曜日も、平日同様19時まで利用できるようにして下さい	4 件
	その他 （主な意見） ・小さい子供への手当ては手厚いですが...大きくなればなるほど、手厚さが薄れていくのがとても困ります	15 件
4. その他		169 件
	（主な意見） ・制度の充実への期待、行政や地域への謝辞、要望など	

Ⅲ 調査票

Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）

ひとり親家庭等の自立促進のための計画策定に向けた アンケート調査へのご協力をお願い

豊中市では、ひとり親家庭等の支援施策を進めていますが、この計画が令和6年度で終了するため、新たな計画の策定に取り組んでいます。

本調査は、新たな計画の策定にあたって、ひとり親家庭等をめぐる様々な状況を把握するための調査です。お忙しいところお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

令和5年（2023年）12月
豊中市こども未来部 子育て給付課

【ご記入にあたってのお願い】

1. 本調査は、児童扶養手当受給資格者の方を対象とし、本市のひとり親家庭等の現状把握のためにお願いするものです。
2. ご回答は、本市のひとり親家庭等支援施策の検討のために利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にみられたり、他の目的に利用されることはありません。なお、調査結果を計画策定に利用することに同意いただいた上で、ご提出ください。
3. 答えたくない質問については、ご回答いただかなくてもかまいません。
4. このアンケート調査についてのご質問は、下記へお問い合わせください。

子育て給付課 家庭給付係 TEL：06-6858-2767

問1. あなたは次のうちどれにあてはまりますか。（あてはまるもの1つに○）

- ①母子家庭の母 ②父子家庭の父 ③その他（ ）

問2. ひとり親家庭になった時の年齢についてお伺いします。あなたと一番下の子どもの年齢を、記入してください。

	ひとり親家庭になったときの年齢	令和5年4月1日現在の年齢
あなたの年齢	歳	歳
一番下の子どもの年齢	歳	歳

問3. あなたの同居人数は何人ですか。それぞれの人数を記入してください。

子ども（20歳以上を含む）							その他の世帯員		
小学校 入学前	小学生	中学生	高校生	大学、専門 学校等	就職	その他	あなたの 父母・祖父母	あなたの 兄弟姉妹	その他
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

問4. ひとり親家庭になった理由は何ですか。（あてはまるもの1つに○）

- ①離婚 ②死別 ③未婚 ④その他（ ）

問5. 問4で①離婚と答えた方にお伺いします。離婚のことを子どもに説明しましたか？

- ①はい ②いいえ

問6. DVを受けた経験はありますか？（あてはまるもの全てに○）

- ①ある（身体的・心理的・性的・その他） ②ない ③答えたくない

問7. あなたの就労状況について、お聞きします。（あてはまるもの全てに○）

- ①働いている（正規・非正規） ②副業をしている
③働いているが、今は休んでいる（育児休業、介護、病気等） ④働いていない

「④働いていない」に○をした人は、問12からお答えください。

問8. あなたの令和4年中の年間就労収入（税込）はおおよそいくらでしたか。

令和4年（1月～12月）の年間就労総収入（税込）

- ①100万円未満 ②100万円～200万円 ③200万円～300万円 ④300万円～400万円 ⑤400万円以上

問9. 現在のお仕事から転職する希望はありますか。

- ①転職したい ②条件の良い仕事があれば転職したい ③現在の仕事を続けたい

Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）

問 10. 問9で①転職したい②条件の良い仕事があれば転職したいと回答した方にお聞きします。転職を希望する理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

- ①収入がよくない ②勤務先が自宅から遠い ③仕事がつらい ④仕事の内容がよくない
⑤職場環境になじめない ⑥労働時間があわない ⑦社会保険がない又は不十分 ⑧休みが少ない
⑨身分が安定しない ⑩経験や能力が発揮できない ⑪その他（ ）

問 11. 直近の仕事を探す際に、どのような情報源を利用されましたか。（あてはまるもの全てに○）

- ①ハローワーク ②ハローワーク以外の就労支援機関 ③豊中しごと・くらしセンター
④有料求人雑誌 ⑤無料求人雑誌（折込チラシ） ⑥新聞の求人広告 ⑦インターネット ⑧友人・知人の紹介
⑨派遣登録 ⑩ひとり親就労相談（市役所） ⑪その他（ ） ⑫利用していません

問 12. 問7で④働いていないと答えた方にお伺いします。あなたは働きたいという希望をお持ちですか。（あてはまるもの 1 つに○）

- ①すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい ②1年より先、1番下の子どもが□歳になったところに働きたい
③働くことは考えていない（働くことができない）（年齢をお書きください）

問 13. 問 12 で②1年より先、1番下の子どもが□歳になったところに働きたい、もしくは③働くことは考えていない（働くことができない）に○をされた方にお聞きします。その理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

- ①保育サービスが利用できない ②子育てしながら働ける適当な仕事がない ③家族を介護する必要がある
④病気などで働けない ⑤求職活動中だが採用されない ⑥職業訓練・技術等の習得中
⑦条件の合う仕事がない ⑧仕事に必要な知識や資格がない
⑨今は、子育てや家事に専念したい ⑩その他（ ）

問 14. 就労等に関して、どのような市の取組を望まれますか。（あてはまるもの全てに○）

- ①講習会受講料の補助 ②支援講習会等の拡充 ③身近な場所での相談の充実（希望する場所 ）
④夜間（深夜）保育など働きやすい保育の実施 ⑤保育所優先入所の推進、延長・休日・一時保育の拡充
⑥病（後）児保育の充実 ⑦その他（ ）

問 15. 問 4 で①離婚と答えた方にお伺いします。養育費の取決めはありますか？（あてはまるもの1つに○）

- ある（ ①調停 ②審判 ③判決 ④公正証書 ⑤離婚協議書 ⑥口約束 ） ⑦ない

問 16. 問 15 で⑦ないと答えた方、その理由をお伺いします。（最もあてはまるもの1つに○）

- ①相手に支払う能力がないと思った ②相手に支払う意思がないと思った ③取り決めの交渉をしたが、まとまらなかった
④相手と関わりたくなかった ⑤知らなかった

問 17. 問 15 である①～⑥と答えた方にお伺いします。あなたは養育費を受け取っていますか。受け取っている場合は金額も記入してください。

- ①受け取っていない ②受け取っている（月平均 円） ③時々受け取っている（1回 円）④その他（ ）

問 18. あなたの世帯では、あなたの就労や養育費以外にはどのような収入がありますか。（あてはまるもの全てに○）

- ①児童扶養手当 ②児童手当 ③年金 ④家族の就労収入 ⑤親・親戚からの援助
⑥生活保護費 ⑦家賃等収入 ⑧その他（ ） ⑨ない

問 19. 問 18 の収入の合計額は、月額でおよそいくらでしたか？（令和4年中）

- ①ない ②5万円未満 ③5万円 ～ 10万円 ④10万円以上

問 20. 問 4 で①離婚と答えた方にお伺いします。親子交流（離婚後又は別居中に子どもを養育・監護していない方の親が子どもと面会等を行うこと）の実施状況について、あてはまるものに○をつけてください。また、その回数、理由を記入してください。

- ①行っている（月 回程度）
②過去に行ったことがあるが、現在は行っていない（行わなくなった理由： ）
③行っていない（その理由： ）

問 21. ご自身及びお子さんのことで、困っていることはありますか。（あてはまるもの全てに○）

- 【ご自身のこと】 ①住居 ②家計 ③仕事 ④家事 ⑤健康 ⑥医療費 ⑦親族の介護・健康
⑧周囲の見方や偏見 ⑨その他（ ） ⑩特に悩みはない

- 【お子さんのこと】 ①しつけ ②教育・進学 ③教育費 ④就職 ⑤非行・問題行動 ⑥健康
⑦不登校・ひきこもり ⑧食事・栄養 ⑨その他（ ） ⑩特に悩みはない

Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）

問 22. 子育てに関する悩みや不安について、誰に相談していますか。(あてはまるもの全てに○)

- ①相談したいことはない ②自分の親、兄弟姉妹などの親せき ③友人・知人、育児仲間 ④近所の人
⑤職場の人 ⑥民生・児童委員・校区福祉委員 ⑦市役所（母子・父子自立支援員等）⑧市立母子父子福祉センター
⑨母子父子福祉団体 ⑩保育所・幼稚園・学校の先生など ⑪インターネット・SNSの書き込みなど
⑫その他（ ） ⑬相談相手がいない・相談していない

問 23. 問 22 で⑬相談相手がいない・相談していないと答えた方にお伺いします。それはどうしてですか？(あてはまるもの全てに○)

- ①近くに知り合いがいない ②自分自身で解決すべきだと思った ③相談しても分かってもらえない ④何を相談すればよいかわからない
⑤相談すると、ご自身が責められると思った ⑥他の人に知られたくなかった ⑦育児書・育児雑誌・インターネットで調べることができる
⑧相談するほどのことでもなかった ⑨どこに相談すればよいかわからない ⑩その他（ ）

問 24. お住まいの近くで日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

- ①いる ②いない

問 25. あなたは、子育てについてどう感じていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- ①楽しいと感じることの方が多い ②楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
③つらいと感じることの方が多い ④わからない ⑤その他（ ）

問 26. 1日あたりの子どもと一緒に過ごす時間(子どものお世話をしたり、一緒に遊ぶなど実際にふれあう時間)はどれくらいですか。また、その平均的な時間についてお伺いします。

平 日 (時間)	休 日 (時間)
a. 十分だと思う	a. 十分だと思う
b. まあまあ十分だと思う	b. まあまあ十分だと思う
c. あまり十分だと思わない	c. あまり十分だと思わない
d. 不十分だと思う	d. 不十分だと思う
e. わからない	e. わからない

問 27. 1日1回は子どもと一緒に食事をしますか。

- ①する ②しない

問 28. 次の施設や制度のうち、あなたが知っているもの、利用したいものについて○をしてください。

	使ったことがある	使ったことはないけど知っている	知らない		使ってみたい 今後も使いたい
1. 豊中しごと・くらしセンター				⇒	
2. 自立支援教育訓練給付金（※1）				⇒	
3. 高等職業訓練促進給付金（※2）				⇒	
4. 高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金（※3）				⇒	
5. ひとり親家庭就労相談（市役所）				⇒	
6. ひとり親家庭相談（市役所、母子・父子自立支援員）				⇒	
7. 日常生活支援事業（※4）				⇒	
8. 養育費保証促進補助金（※5）				⇒	
9. 公正証書等作成促進補助金（※6）				⇒	
10. 弁護士費用補助金（※7）				⇒	
11. 子育て短期支援事業（ショート・ステイ、トワイライト・ステイ）				⇒	
12. ファミリーサポートセンター（※8）				⇒	
13. ファミリーサポートセンターの利用補助				⇒	
14. 母子父子寡婦福祉資金貸付金の貸付（※9）				⇒	
15. 就学援助（※10）				⇒	
16. 豊中市 LINE による子育て・ひとり親家庭支援に関する情報配信				⇒	
17. 市立母子父子福祉センター（※11）				⇒	
18. とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ（※12）				⇒	
19. こども食堂				⇒	

Ⅱ 調査結果（ひとり親家庭）

- ※1 ひとり親家庭の父母が、雇用保険制度の教育訓練給付の指定教育訓練講座を受講し修了した際に受講料の20%を支給
- ※2 ひとり親家庭の父母が、看護師等の資格を取得するために2年以上の養成機関で修業する際に所得に応じて給付金を支給
- ※3 ひとり親家庭の父母及び子が、高等学校卒業程度認定試験の合格をめざすために通信講座等を受講する場合の受講料の一部を支給
- ※4 ひとり親家庭の父母及び寡婦が、就業や疾病などにより一時的に生活援助や保育サービスが必要となった際に家庭生活支援員を派遣
- ※5 養育費について、保証会社と1年以上の保証契約を結ぶ際の費用の一部を補助
- ※6 公正証書や調停調書等の作成にかかる書類取得費用の一部を補助
- ※7 養育費請求に係る弁護士費用の一部を補助
- ※8 育児の援助を行いたい者と援助を受けたい者が、相互に会員となつて、会員同士が育児に関する援助活動を行う事業
- ※9 ひとり親家庭の母又は父、及び寡婦の経済的自立を図るための用途のために資金を貸付ける制度
- ※10 小中学校生に必要な学用品費などの援助をする制度
- ※11 生活相談、就労支援講座、レクリエーション、子どもの学習支援などの事業を実施
- ※12 女性の総合相談や就労、資格取得、ワークライフバランスなどに関するセミナーや講座の実施、男女共同参画をテーマにした専門図書室などを設置

問 29. 問 28 に例示する施設や制度等の情報は主にどこで知りましたか。（あてはまるもの全てに○）

- ①家族・親戚 ②友人・知人 ③市役所（相談等の来庁） ④豊中市ひとり親家庭のしおり
- ⑤豊中市LINE 配信 ⑥子育て・子育て応援アプリ「とよふあみ」b y 母子モ ⑦インターネット ⑧SNS
- ⑨母子父子福祉団体 ⑩市立母子父子福祉センター ⑪広報とよなか ⑫豊中市ホームページ
- ⑬豊中市母子寡婦福祉会ホームページ ⑭その他（ ）

問 30. あなた自身、どのような支援策を望みますか。（あてはまるもの全てに○）

- ①気軽に相談できる場所の充実
- ②相談体制の充実について（以下からあてはまるものを選んでください）
 - a. オンライン相談の実施 b. 夜間土日の相談の実施 c. その他（ ）
- ③当事者同士で情報交換・相談する場の充実 ④各種制度・サービスに関する広報の充実
- ⑤保育所入所、延長・休日・一時保育の充実 ⑥病（後）児保育の充実 ⑦子どもへの手当の充実
- ⑧子どもの学習支援について（以下からあてはまるものを選んでください）
 - a. 学習支援ボランティアの派遣等 b. 学校外での学習機会の提供 c. 学習塾費用補助 d. その他（ ）
- ⑨職業訓練や技能講習など機会の充実 ⑩家事・子育て援助ヘルパー等の充実
- ⑪住宅に関する支援策について（以下からあてはまるものを選んでください）
 - a. ひとり親家庭の公営住宅への優先入居 b. 家賃補助 c. その他（ ）
- ⑫養育費の立替払い制度 ⑬親子交流支援（※1）（引き渡しや見守り、費用補助）
- ⑭こども食堂 ⑮子どものための相談窓口 ⑯その他（ ）

※1 問 20 を参照

問 31. このたびはお忙し中、本調査にご協力頂きありがとうございました。日頃感じておられることなどがございましたら、ご自由にご記入ください。

～ひとり親家庭への手当・助成・支援のご案内～

本市ではひとり親家庭の方を対象に様々な相談や支援を行っております。
詳細は市ホームページをご覧ください。



ひとり親家庭相談	豊中市こども未来部 子育て給付課 第二庁舎3階（307 窓口） 相談日時：月～金、9 時～17 時 15 分 （要予約） TEL06-6858-2767
母子父子福祉相談	市立母子父子福祉センター 相談日時：月～金、10 時～16 時 TEL06-6852-5160

**ひとり親家庭等の自立促進のための計画策定に
向けたアンケート調査
結果報告書**

令和6(2024年)3月

豊 中 市

〈発行〉豊中市 こども未来部 子育て給付課
〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号

電 話 06-6858-2767

FAX 06-6854-9533

豊中市ホームページ <http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>